

住民意向調査結果の報告

(1) 住民意向の把握方法

市の土地利用に対する市民の実感や問題意識、将来方向に対する意向等を吸収するため、市民アンケート調査を実施した。

調査の実施概要は以下のとおりである。

- ・ 調査日時
 - ・ 調査準備と設計：平成 20 年 6～7 月
 - ・ 調査の実施：平成 20 年 8 月（9 月 1 日投函締切）
 - ・ 集計解析：平成 20 年 9～10 月
- ・ 調査対象者：20 歳以上の市民 8,000 人を住民基本台帳より無作為抽出
- ・ 調査方法：郵送による配布、郵送（料金受取人払）による回収
- ・ 有効回収数：3,350 票
- ・ 有効回収率：41.9%

設問項目の構成は以下のとおりとした。

○回答者の属性

- ・ 性別 ・ 年齢 ・ 職業 ・ 同居家族人員数 ・ 住居の形態
- ・ 居住地区と通勤通学先地区（市内 16 区分） ・ 居住歴（現住所及び浜松市内）
- ・ 自動車の保有状況

○身近な土地利用状況等について

- ・ 周辺地域の土地利用状況（住まいの周辺、通勤通学先周辺）
- ・ 上記土地利用状況の総合評価（同）
- ・ 周辺地域の環境要素別の評価（環境要素 16 項目）（同）
- ・ 住まいの周辺で今後増えると良い土地利用、減らしたい土地利用

○浜松市全体の土地利用について

- ・ 現在の浜松市の土地利用上の問題点
- ・ 都市的土地利用の配置の考え方（集約配置／拡散化）
- ・ 用途配置への考え方（純化／混在）
- ・ 市内地域別の土地利用方向（地域区分 7）

○土地の所有等の状況と所有する土地の利用について

- ・ 土地の所有または賃借状況（用途区分 5）
- ・ 所有する土地の将来意向（所有継続か否か）（同）
- ・ 所有継続希望の土地の活用意向（高度利用の意思）（同）
- ・ 所有する土地の各種計画への協力対応意思（計画区分 3）（同）

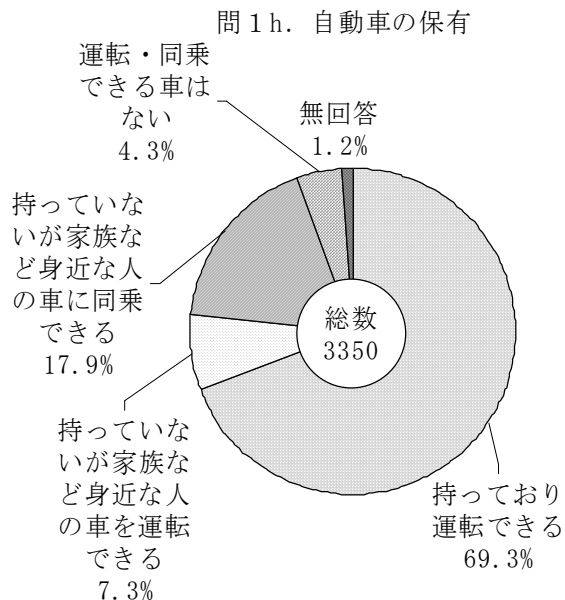
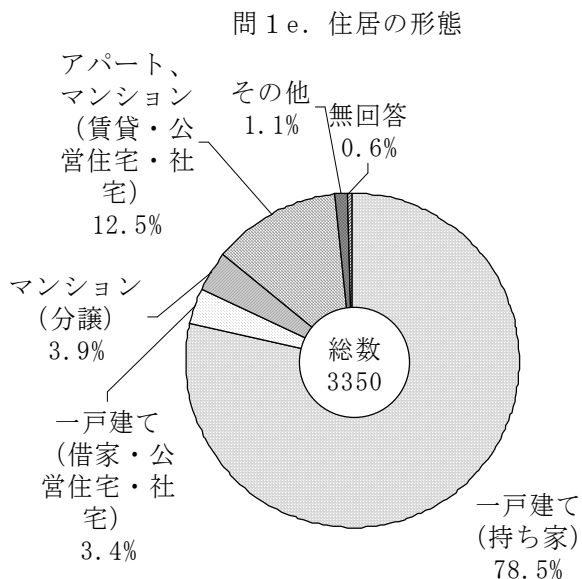
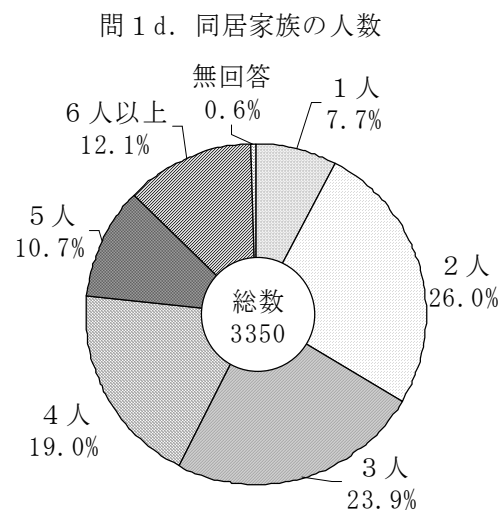
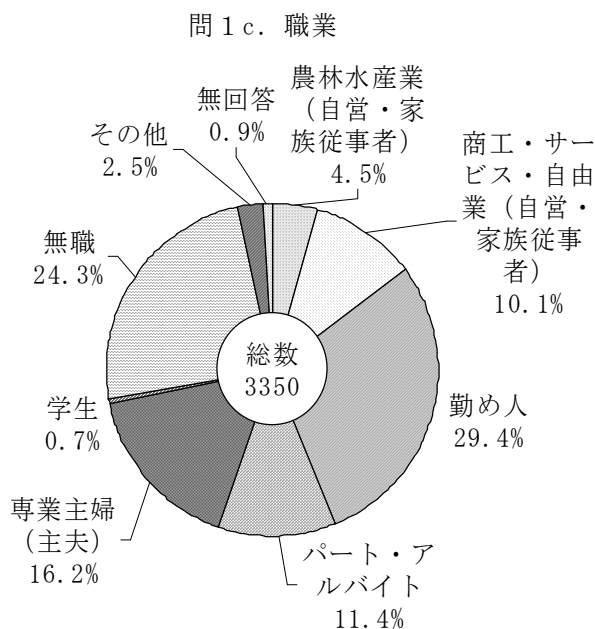
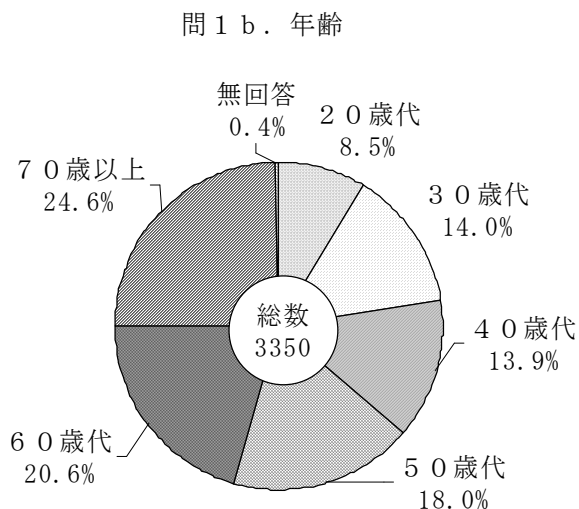
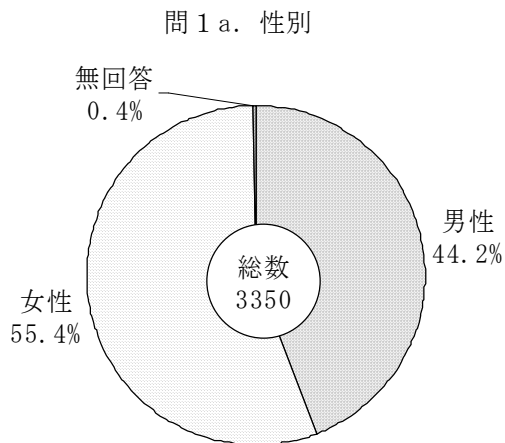
○土地利用に対する自由な意見

以下に回答の集計・分析結果を示す。

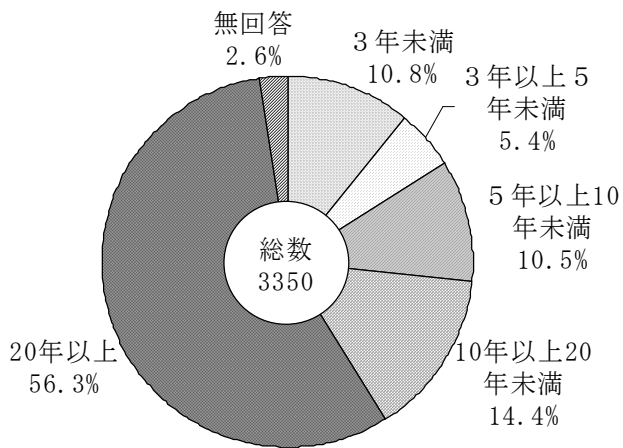
(2) 回答者の属性

★はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

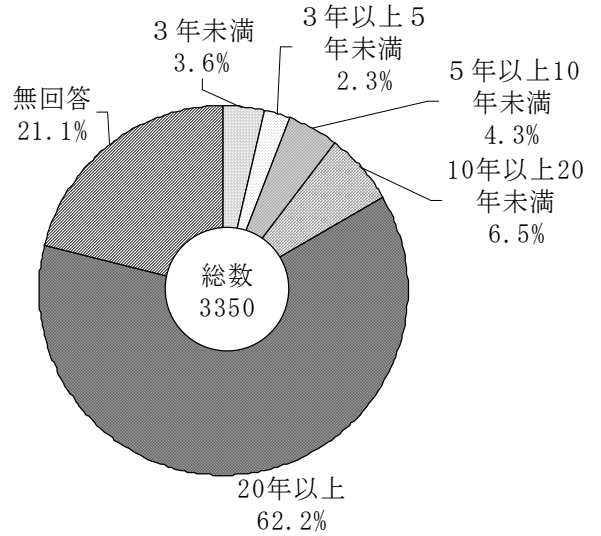
回答者の属性の集計結果は以下のとおりである。



問1g1. 居住年数（現住所）



問1g2. 居住年数（浜松市内）

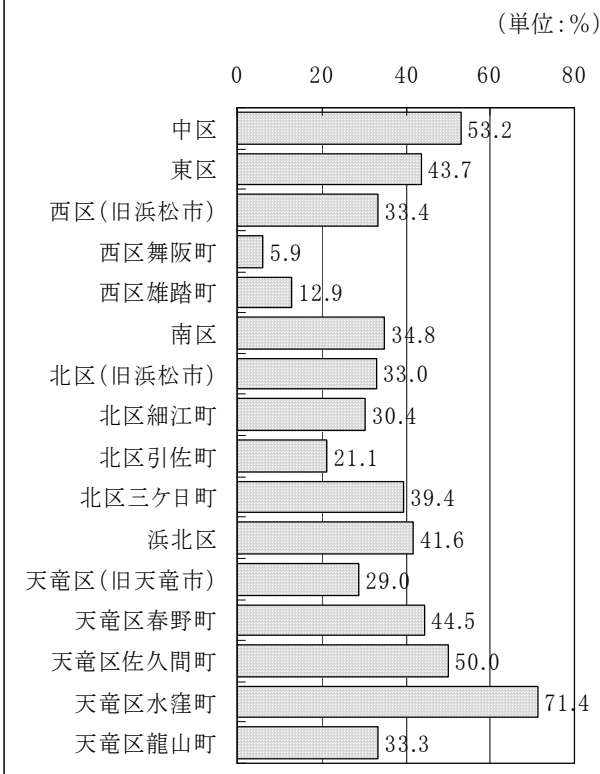


問1f. 居住地区・通勤通学先地区

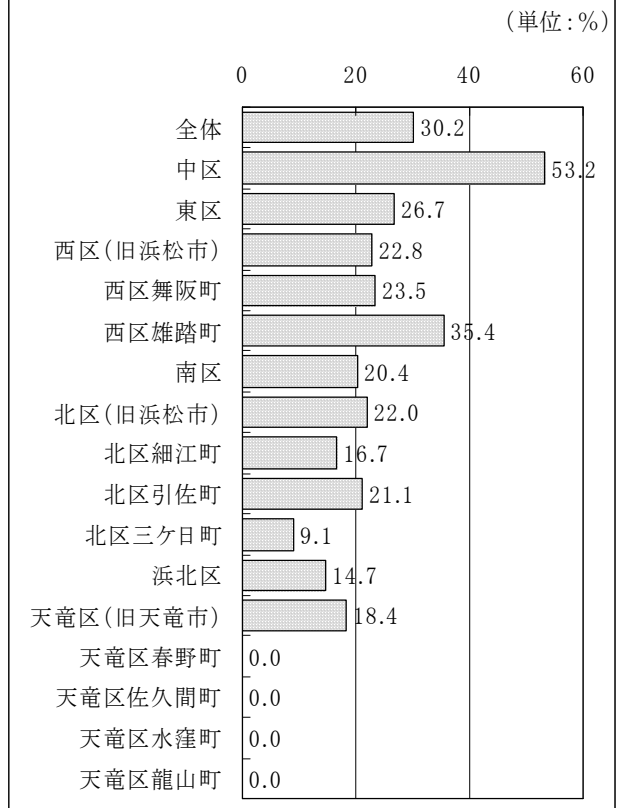
単位: %

	中区	東区	西区(旧浜松市)	西区舞阪町	西区雄踏町	南区	北区(旧浜松市)	北区細江町	北区引佐町	北区三ヶ日町	浜北区	天竜区(旧天竜市)	天竜区春野町	天竜区佐久間町	天竜区水窪町	天竜区龍山町	浜松市外	わからない	無回答			
居住地区			27.8				14.0		11.2	0.9	7	12.5		6.5	2.2	1.6	2.0	10.6	3.0	0.7	0.6	3.3
通勤通学先地区	13.8		6.4	4.6	0.1	5.0	3.3	0.9	3.4	10.1	5.2	0.0		54.5						0.5	0.1	0.1

居住地区別 地区内流動率



居住地区別 中区への流出率

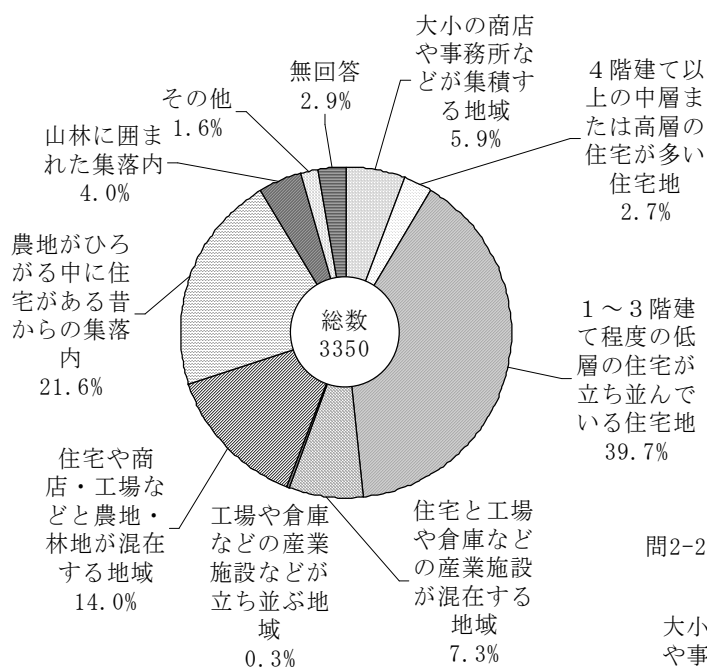


(3) 身近な土地利用状況等について

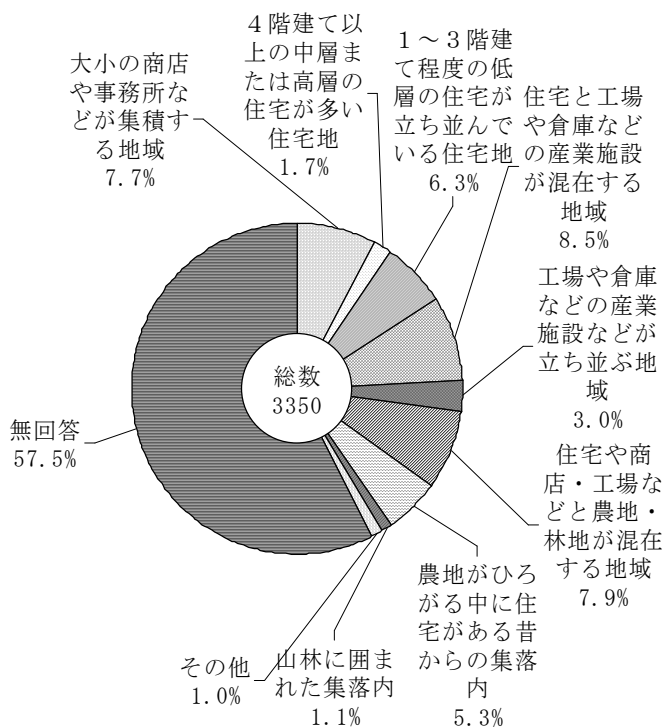
問2. あなたのお住まい周辺（概ね数百メートル以内、小学校区程度の範囲）の土地の利用状況はどのようなものですか。また、市内に通勤・通学をしている方は、通勤・通学先の周辺の土地利用についてもお答えください。（各ひとつ選択）

住まいの周辺では、低層の住宅地が約4割と最も多く、農地の中の集落がこれに続く。市街地と農山村部が共存する浜松市の特性を表している。通勤通学先の周辺の回答者では、商店や事務所の集積地、住工混在地域、農住工混在地域などが比較的多く、人々の就業・就学の際は市街地を中心に多様な環境エリアに分散していることがわかる。

問2-1. 土地利用状況（住まいの周辺）

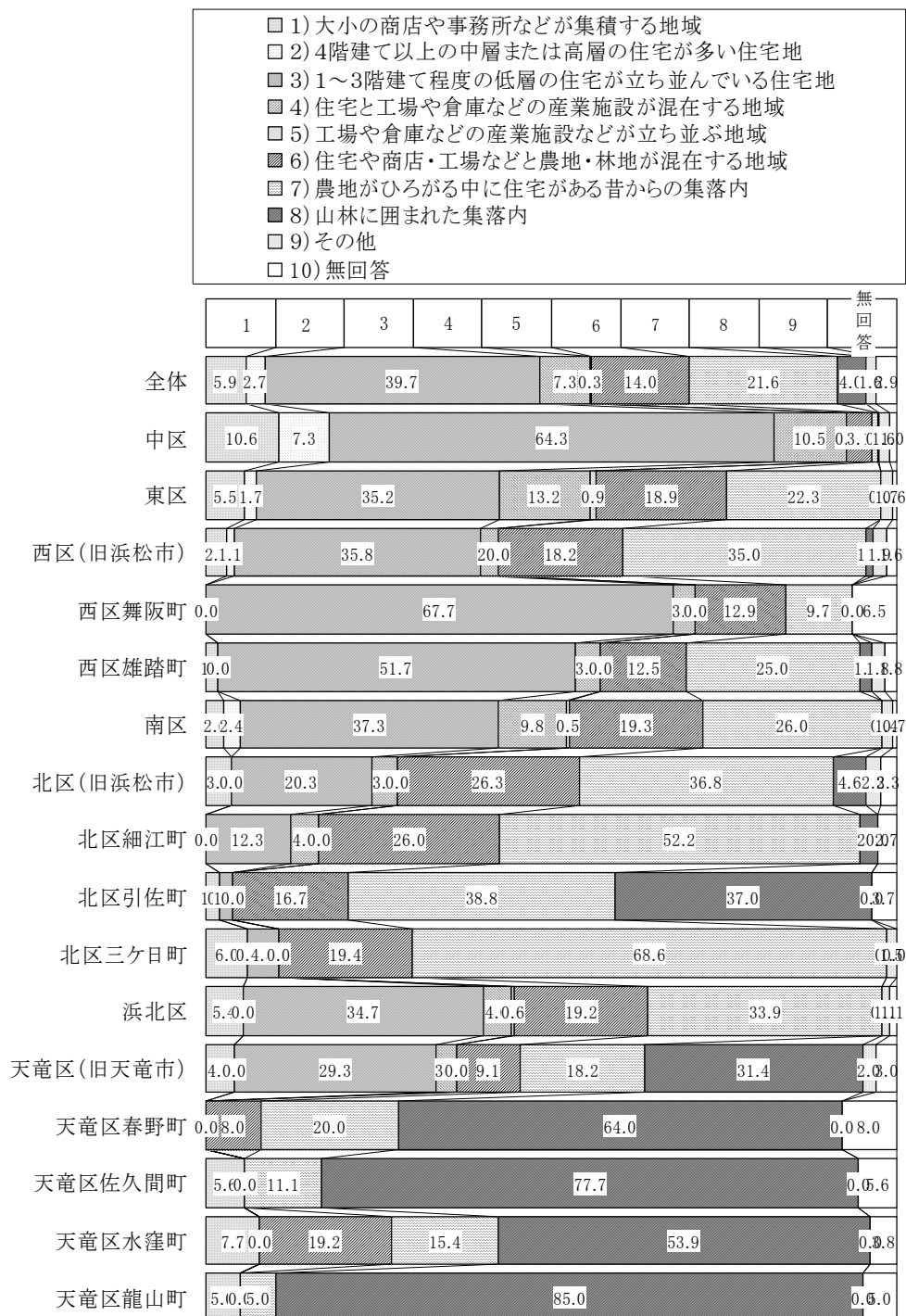


問2-2. 土地利用状況（通勤通学先の周辺）



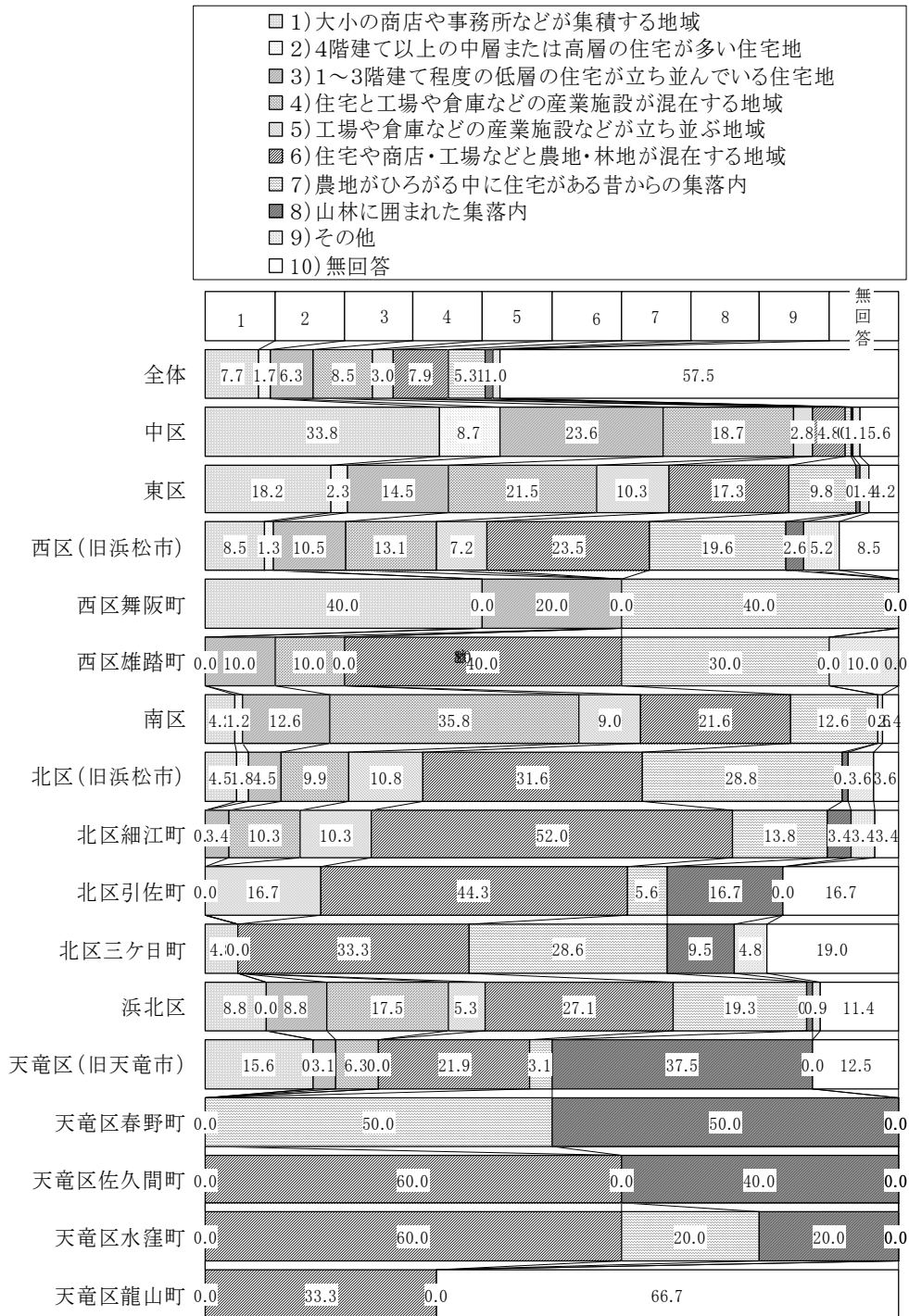
居住地区（16 地区区分）別の土地利用状況をみると、中区をはじめ市街地を構成する地区では住宅や商店、工場・倉庫等の都市的土地利用が多いが、郊外部の地区では農と住の混在、北部山間部の地区では山林内の集落が圧倒的に多くなるなど、各地区の特性がよく現れている。

居住地区別 土地利用状況(居住地)



通勤通学地についても同様であるが、都市的土地利用の比重が居住地区よりも全体に高くなっている。

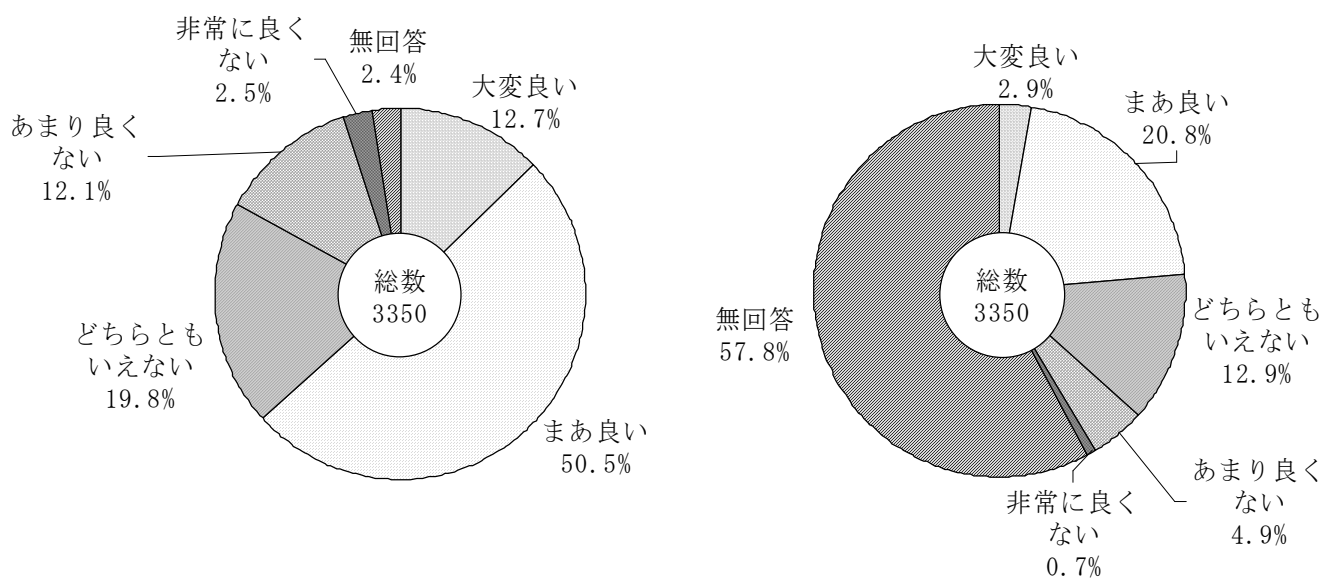
居住地区別 土地利用状況(通勤通学地)



問3. 上でお答えになった地域の土地利用の状況について、総合的にみてどのように感じていますか。
 (住まいの周辺、通勤通学先の周辺で各ひとつ選択)

住まいの周辺では、「まあ良い」とする回答が約半数で、「大変良い」を合わせると6割以上が好意的な評価である。「大変良い」を2点、「まあ良い」を1点、「どちらともいえない」を0点、「あまり良くない」を-1点、「非常に良くない」を-2点として回答数で加重平均した平均評価点を算出すると0.60点となり、平均的には「まあ良い」をやや下回る評価水準である。
 通勤通学先の周辺ではこの評価得点が0.48点となり、住まいの周辺よりやや厳しい評価となっている。

問3-1. 土地利用状況の評価（住まいの周辺） 問3-2. 土地利用状況の評価（通勤通学先の周辺）



自動車保有状況との関係では、自動車を使用しにくい層ほど好意的評価がやや少なくなる傾向がみられ、自動車利用社会型の土地利用状況であることを示唆している。

自動車保有別 土地利用状況の総合評価（現住所）

単位：%

	大変良い	まあ良い	どちらともいえない	あまり良くない	非常に良くない	無回答
全体	12.7	50.5	19.8	12.1	2.5	2.4
持っており運転できる	13.9	51.9	19.4	11.7	2.4	2.4
持っていないが家族など身近な人の車を運転できる	11.0	54.3	18.0	11.4	2.4	2.9
持っていないが家族など身近な人の車に同乗できる	10.3	47.5	22.2	13.5	2.8	3.7
運転・同乗できる車はない	9.0	44.1	19.3	14.5	4.1	9.8

居住地区別では、サンプル数が分散するため精度は低いですが、北区引佐町や天竜区など市内北部では比較的评价が厳しい傾向が見られる。

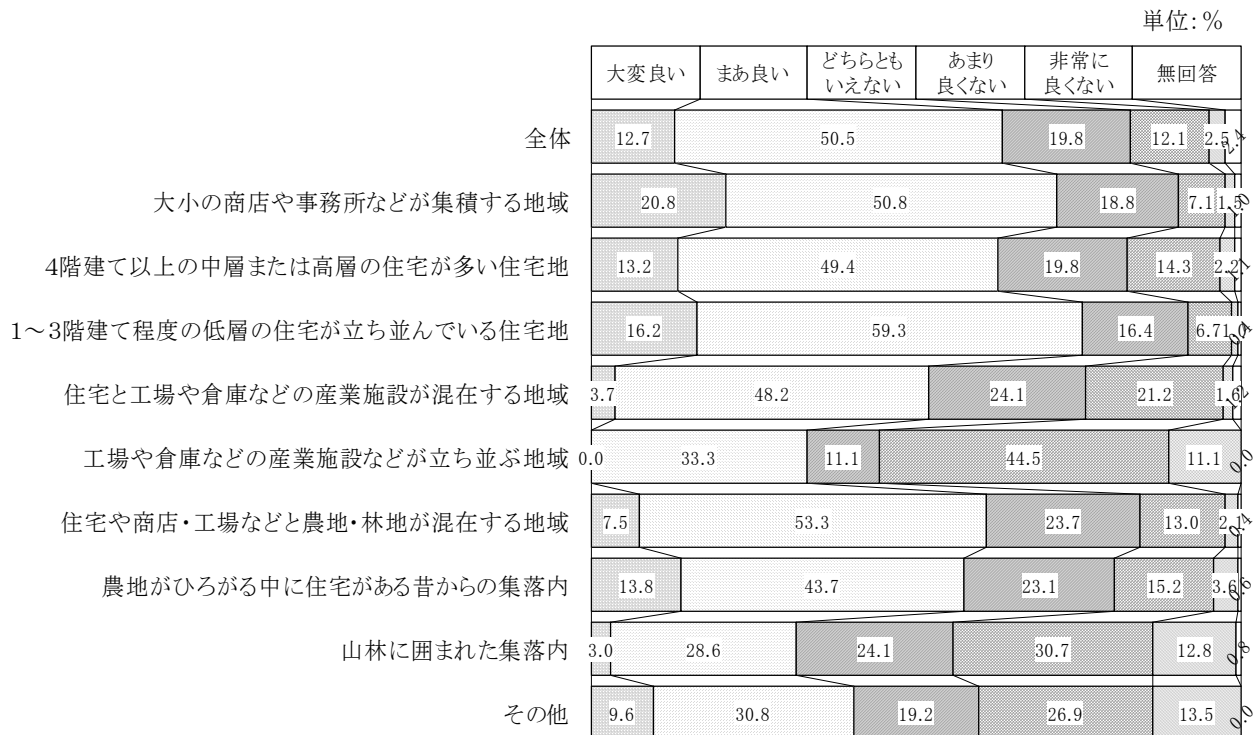
居住地区別 土地利用状況の総合評価(現住所)

単位:%

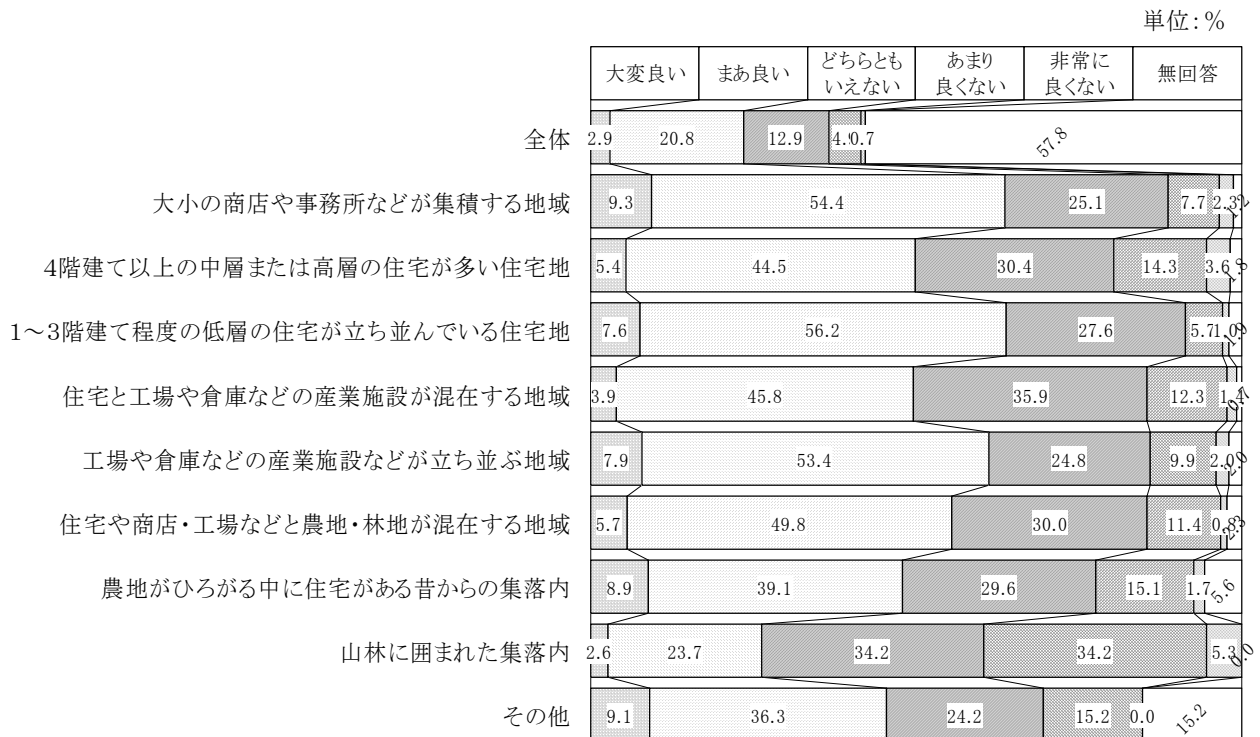
	大変良い	まあ良い	どちらとも いえない	あまり 良くない	非常に 良くない	無回答
全体	12.7	50.5		19.8	12.1	2.5
中区	15.0	56.4		17.4	9.0	1.7
東区	13.6	50.1		19.4	13.0	2.8
西区(旧浜松市)	15.0	48.3		21.7	11.0	2.7
西区舞阪町	9.7	51.6		25.8	6.5	3.2
西区雄踏町	14.3	57.1		21.4	5.4	1.8
南区	10.3	51.4		21.2	13.6	2.1
北区(旧浜松市)	13.8	47.9		22.6	13.4	1.9
北区細江町	12.3	50.6		24.7	11.0	1.9
北区引佐町	9.3	38.8		25.9	18.5	5.6
北区三ヶ日町	14.9	43.3		19.4	17.9	4.5
浜北区	11.0	56.3		18.9	11.0	1.4
天竜区(旧天竜市)	6.1	41.4		21.2	18.2	10.1
天竜区春野町	4.0	40.0		16.0	32.0	4.0
天竜区佐久間町	5.6	16.7	11.1	38.8	16.7	11.1
天竜区水窪町	7.7	34.7		19.2	23.1	11.5
天竜区龍山町	0.0	30.0		30.0	30.0	5.0

また、土地利用状況による評価の差異をみると、産業施設の集積地や山林内の集落部などでは評価が厳しい傾向が読み取れる。

土地利用状況別 土地利用状況の総合評価(現住所)



土地利用状況別 土地利用状況の総合評価(通勤通学先)



問4. それでは、お住まい周辺（概ね数百メートル以内、小学校区程度の範囲）の次のようなそれぞれの環境についてはいかがでしょうか。a～pまでの項目ごとに、該当する答を選んでください。市内に通勤・通学をしている方は、通勤・通学先の周辺の環境についてもあわせてお答えください。（16要素項目別に、住まいの周辺、通勤通学先の周辺で各ひとつ選択）

全体に、評価項目により評価は大きく異なっている。「大変良い」を2点、「まあ良い」を1点、「どちらともいえない」を0点、「あまり良くない」を-1点、「非常に良くない」を-2点とした平均評価点で比較すると、最も高い得点の項目は「日当たり、風通し」で、「静かさ」がこれに次ぐ。逆に最も低い得点の項目は「文化的な香り、楽しみ」で、「賑わいや活気」もこれに次いで低く、この2項目のみが平均評価点がマイナス（平均的に「良くない」水準）である。

環境要素別満足度（住まいの周辺）

環境要素別満足度（通勤通学先）

単位：%

単位：%

	環境要素別満足度（住まいの周辺）						環境要素別満足度（通勤通学先）					
	大変良い	まあ良い	どちらともいえない	あまり良くない	非常に良くない	無回答	大変良い	まあ良い	どちらともいえない	あまり良くない	非常に良くない	無回答
a) 静かさ（騒音など）	19.0	47.1	11.3	14.5	7.2	1.0	4.7	16.1	9.7	8.5	59.1	0.5
b) 日当たり、風通しなど	35.8	46.3	7.2	6.8	0.4	0.2	9.0	19.8	7.8	3.3	59.6	0.4
c) 緑の豊かさ	21.2	39.2	19.4	14.5	6.7	0.9	5.8	14.6	9.3	8.5	59.6	0.5
d) 水のきれいさ	9.9	35.4	32.5	15.3	6.8	0.1	2.5	11.0	17.9	7.5	59.5	0.4
e) 空気のきれいさ	15.2	42.3	24.2	12.2	4.1	0.8	3.4	13.2	13.3	8.4	59.6	0.4
f) 公園や空間のゆとり	8.9	33.5	27.4	19.9	10.5	0.0	2.8	11.1	14.6	9.7	59.6	0.3
g) 清潔さ（衛生面）	7.6	46.9	30.7	9.2	4.5	0.1	0.7	15.3	17.7	4.0	59.6	0.2
h) 火災や自然災害からの安全性	6.5	37.3	35.8	13.5	4.7	0.0	0.0	12.4	17.8	6.5	59.6	0.0
i) 治安の状況	6.2	44.2	33.1	11.3	4.9	0.1	0.6	13.0	18.1	6.2	59.5	0.3
j) 交通事故からの安全性	4.9	34.8	33.3	19.3	6.7	0.0	0.0	10.1	16.7	10.7	59.5	0.0
k) 買い物や各種施設の利便性	10.7	39.3	16.9	21.6	10.5	0.1	3.9	15.2	9.6	9.4	59.5	0.2
l) 交通の便（道路）	11.9	47.9	18.2	13.7	7.3	0.1	4.9	19.1	9.0	5.5	59.6	0.2
m) 交通の便（鉄道やバス）	11.3	35.9	15.4	22.0	15.4	0.0	4.1	13.2	8.4	9.7	59.6	0.0
n) 賑わいや活気	1.6	17.9	40.9	28.9	10.5	0.4	0.6	10.4	17.6	8.8	59.4	0.3
o) 文化的な香り、楽しみ	1.5	14.6	38.6	33.0	12.5	0.0	0.5	3.3	19.1	12.0	59.5	0.0
p) 地域でのつきあいや助け合いのしやすさ	5.3	36.6	38.6	13.6	7.9	0.0	0.7	3.3	21.9	8.7	59.6	0.3

地区別にみると、利便性に関する環境要素では中区など市街地部の地区での評価が高く、自然的要素など快適性に類する要素項目では、北部山間の地区での評価が比較的高いほか、安全性に関する項目では郊外部の地区で比較的高いのが目立つ。

居住地区別 環境要素評価(居住地)

項目	a 静かさ (騒音など)	b) 日 当たり、 風通しな	c 緑の豊かさ	d 水のきれいさ	e 空気のきれいさ	f 公園や空間のゆとり	g 清潔さ(衛生面)	h 火災や自然災害からの 安全性	i 治安の状況	j 交通事故からの安全 性	k 買い物や各種施設の 利便性	l 交通の便(道路)	m 交通の便(鉄道やバ ス)	n 賑わいや活気	o 文化的な香り、楽し み	p 地域でのつきあいや 助け合いのしやすさ
全体	0.61	1.11	0.64	0.34	0.57	0.20	0.51	0.31	0.42	0.17	0.23	0.49	0.12	-0.24	-0.35	0.27
中区	0.37	0.93	0.27	0.08	0.22	0.10	0.49	0.26	0.31	0.00	0.56	0.81	0.70	-0.04	-0.28	0.13
東区	0.43	1.18	0.48	0.33	0.46	0.03	0.46	0.35	0.41	0.07	0.20	0.46	0.05	-0.14	-0.48	0.21
西区(旧浜松市)	0.76	1.31	0.91	0.31	0.76	0.37	0.58	0.42	0.49	0.33	0.12	0.52	-0.07	-0.18	-0.32	0.29
西区舞阪町	0.66	1.18	0.59	0.39	0.41	0.26	0.62	-0.39	0.21	0.24	0.14	0.79	0.48	-0.34	0.00	0.34
西区雄踏町	0.71	1.11	0.46	0.37	0.68	0.17	0.33	0.21	0.40	0.22	0.37	0.54	0.08	-0.11	0.11	0.50
南区	0.59	1.18	0.53	0.14	0.46	0.27	0.42	0.11	0.31	0.14	0.26	0.56	0.20	-0.31	-0.45	0.23
北区(旧浜松市)	0.90	1.27	0.91	0.52	0.83	0.41	0.58	0.67	0.51	0.25	0.22	0.36	-0.35	-0.34	-0.44	0.27
北区細江町	0.89	1.08	1.25	0.58	0.93	0.38	0.61	0.37	0.69	0.31	0.11	0.43	-0.18	-0.35	-0.10	0.51
北区引佐町	1.04	1.19	1.38	0.72	1.11	0.21	0.54	0.19	0.54	0.31	-0.73	-0.54	-1.00	-0.79	-0.40	0.38
北区三ヶ日町	0.88	1.42	1.42	0.47	1.02	0.38	0.53	0.53	0.74	0.44	-0.65	-0.20	-0.88	-0.67	-0.41	0.45
浜北区	0.74	1.16	0.76	0.62	0.70	0.17	0.58	0.56	0.50	0.24	0.36	0.49	0.00	-0.13	-0.29	0.45
天竜区(旧天竜市)	1.01	0.89	1.35	0.98	1.28	0.21	0.66	-0.05	0.68	0.53	-0.56	-0.11	-0.51	-0.82	-0.37	0.63
天竜区春野町	1.71	1.21	1.79	1.63	1.75	0.58	0.91	-0.09	1.00	0.63	-1.29	-0.83	-1.46	-1.42	-0.75	0.67
天竜区佐久間町	1.44	1.11	1.67	1.53	1.72	0.86	1.11	-0.44	0.71	0.39	-1.11	-0.76	-0.67	-1.11	-0.56	0.67
天竜区水窪町	1.40	1.12	1.63	1.32	1.60	0.21	0.76	-0.17	0.68	0.80	-0.56	-0.96	-1.00	-1.36	-0.67	0.76
天竜区龍山町	1.67	1.50	1.95	1.84	1.89	0.18	1.11	-0.33	0.74	0.42	-1.05	-0.53	-1.63	-1.42	-0.21	0.53

「大変良い」=2点、「まあ良い」=1点、「どちらともいえない」=0点、「あまり良くない」=-1点、「非常に良くない」=-2点とし、
回答数により加重平均した値

は評価点1位 是評価点2位を示す

通勤通学先地区別 環境要素評価(通勤通学地)

項目	a 静かさ (騒音など)	b) 日 当たり、 風通しな	c 緑の豊かさ	d 水のきれいさ	e 空気のきれいさ	f 公園や空間のゆとり	g 清潔さ(衛生面)	h 火災や自然災害からの 安全性	i 治安の状況	j 交通事故からの安全 性	k 買い物や各種施設の 利便性	l 交通の便(道路)	m 交通の便(鉄道やバ ス)	n 賑わいや活気	o 文化的な香り、楽し み	p 地域でのつきあいや 助け合いのしやすさ
全体	0.61	1.11	0.64	0.34	0.57	0.20	0.51	0.31	0.42	0.17	0.23	0.49	0.12	-0.24	-0.35	0.27
中区	0.58	1.11	0.57	0.26	0.48	0.22	0.53	0.31	0.36	0.01	0.39	0.60	0.28	-0.12	-0.35	0.22
東区	0.67	1.18	0.62	0.41	0.54	0.13	0.46	0.27	0.39	0.13	0.24	0.47	0.00	-0.13	-0.34	0.30
西区(旧浜松市)	0.59	0.97	0.59	0.23	0.49	0.16	0.40	0.20	0.36	0.12	0.18	0.58	0.11	-0.29	-0.31	0.23
西区舞阪町	0.60	0.20	0.00	0.20	0.00	0.40	0.60	-0.60	0.40	0.00	-0.20	0.20	0.00	0.40	0.20	-0.20
西区雄踏町	0.70	1.50	0.80	0.30	0.22	0.30	0.90	0.40	0.00	-0.10	0.20	1.00	0.10	0.20	0.10	0.50
南区	0.55	1.17	0.41	0.16	0.50	0.21	0.52	0.21	0.35	0.08	0.43	0.61	0.14	-0.14	-0.40	0.19
北区(旧浜松市)	0.73	1.05	0.60	0.30	0.56	0.11	0.39	0.36	0.27	0.00	0.43	0.54	-0.03	-0.16	-0.28	0.30
北区細江町	0.83	1.00	1.00	0.62	0.69	0.59	0.79	0.31	0.76	0.41	0.07	0.41	-0.14	-0.07	-0.31	0.48
北区引佐町	0.61	1.39	0.94	0.44	0.59	0.19	0.27	0.35	0.39	0.06	0.06	0.29	-0.12	-0.47	-0.63	0.29
北区三ヶ日町	0.75	1.20	1.25	0.55	1.10	0.25	0.70	0.30	0.80	0.35	0.05	0.15	-0.68	-0.45	-0.15	0.42
浜北区	0.58	1.03	0.81	0.40	0.64	0.10	0.51	0.35	0.45	0.12	0.40	0.46	-0.05	-0.23	-0.28	0.32
天竜区(旧天竜市)	1.00	1.06	1.03	0.75	1.00	0.22	0.56	0.16	0.44	0.19	0.25	0.13	-0.29	-0.41	-0.03	0.44
天竜区春野町	2.00	1.25	2.00	1.75	2.00	-0.50	0.25	-1.00	1.00	0.00	-1.75	-1.75	-1.75	-1.50	-1.00	0.25
天竜区佐久間町	1.50	1.75	1.25	1.00	1.50	-0.25	0.75	0.75	1.00	0.75	-0.75	-0.67	0.00	-1.25	-0.50	0.50
天竜区水窪町	1.20	1.20	1.40	1.20	1.40	0.00	0.60	-0.60	0.60	0.40	-0.60	-1.60	-1.20	-1.00	-0.25	0.60
天竜区龍山町	2.00	2.00	2.00	1.67	2.00	2.00	1.67	-1.33	1.00	0.67	-2.00	-1.33	-1.67	-1.67	-0.33	1.33

「大変良い」=2点、「まあ良い」=1点、「どちらともいえない」=0点、「あまり良くない」=-1点、「非常に良くない」=-2点とし、
回答数により加重平均した値

は評価点1位 是評価点2位を示す

土地利用状況による相違をみても、住宅等の建物が集積する土地利用状況の部分では利便性に関する項目の評価が高く、農地や山林などの多い土地利用状況の部分では自然や快適性に関する項目の評価が比較的高い傾向が顕著である。

土地利用の状況別 環境要素評価(居住地)

項目	a 静かさ (騒音など)	b) 日当たり、 風通しな	c 緑の豊かさ	d 水のきれいさ	e 空気のきれいさ	f 公園や空間のゆとり	g 清潔さ(衛生面)	h 火災や自然災害から の安全性	i 治安の状況	j 交通事故からの安全 性	k 買い物や各種施設の 利便性	l 交通の便(道路)	m 交通の便(鉄道やバ ス)	n 賑わいや活気	o 文化的な香り、楽し み	p 地域でのつきあいや 助け合いのしやすさ	
土地利用の状況(居住地) ↓																	
全体	0.61	1.11	0.64	0.34	0.57	0.20	0.51	0.31	0.42	0.17	0.23	0.49	0.12	-0.24	-0.35	0.27	
大小の商店や事務所などが集積する地域	0.01	0.83	0.04	0.03	-0.01	-0.01	0.39	0.24	0.36	-0.06	0.85	0.98	0.97	0.13	-0.17	0.14	
4階建て以上の中層または高層の住宅が多い住宅地	0.26	0.69	-0.02	-0.07	-0.08	0.06	0.36	-0.02	-0.04	-0.22	0.42	0.92	0.90	0.07	-0.26	-0.22	
1～3階建て程度の低層の住宅が立ち並んでいる住宅地	0.67	1.02	0.41	0.23	0.48	0.20	0.58	0.28	0.42	0.16	0.47	0.73	0.46	-0.08	-0.27	0.23	
住宅と工場や倉庫などの産業施設が混在する地域	-0.07	0.92	0.07	-0.05	0.05	0.08	0.21	0.26	0.11	-0.09	0.50	0.53	0.14	-0.03	-0.52	0.14	
工場や倉庫などの産業施設などが立ち並ぶ地域	-0.50	0.67	-0.11	0.22	-0.22	-1.00	0.00	0.44	0.11	-0.33	0.11	0.44	0.33	-0.56	-0.89	0.22	
住宅や商店・工場などと農地・林地が混在する地域	0.56	1.23	0.82	0.31	0.59	0.14	0.45	0.28	0.40	0.04	0.32	0.49	0.04	-0.22	-0.38	0.33	
農地がひろがる中に住宅がある昔からの集落内	0.88	1.44	1.19	0.64	0.96	0.32	0.55	0.53	0.57	0.37	-0.28	0.11	-0.54	-0.52	-0.45	0.41	
山林に囲まれた集落内	1.41	1.07	1.72	1.44	1.65	0.42	0.82	-0.02	0.82	0.66	-1.09	-0.81	-1.20	-1.22	-0.47	0.65	
その他	0.51	1.06	0.48	0.15	0.31	0.06	0.60	0.26	0.44	0.21	-0.18	0.50	0.08	-0.43	-0.42	0.18	

「大変良い」=2点、「まあ良い」=1点、「どちらともいえない」=0点、「あまり良くない」=-1点、「非常に良くない」=-2点とし、
回答数により加重平均した値

■ は評価点1位 ■ は評価点2位を示す

土地利用の状況別 環境要素評価(通勤通学地)

項目	a 静かさ (騒音など)	b) 日当たり、 風通しな	c 緑の豊かさ	d 水のきれいさ	e 空気のきれいさ	f 公園や空間のゆとり	g 清潔さ(衛生面)	h 火災や自然災害から の安全性	i 治安の状況	j 交通事故からの安全 性	k 買い物や各種施設の 利便性	l 交通の便(道路)	m 交通の便(鉄道やバ ス)	n 賑わいや活気	o 文化的な香り、楽し み	p 地域でのつきあいや 助け合いのしやすさ	
土地利用の状況(通勤通学地) ↓																	
全体	0.61	1.11	0.64	0.34	0.57	0.20	0.51	0.31	0.42	0.17	0.23	0.49	0.12	-0.24	-0.35	0.27	
大小の商店や事務所などが集積する地域	0.75	1.19	0.67	0.44	0.57	0.23	0.54	0.27	0.42	0.05	0.36	0.56	0.22	-0.11	-0.28	0.26	
4階建て以上の中層または高層の住宅が多い住宅地	0.31	1.04	0.36	0.00	0.09	0.05	0.31	0.05	0.18	-0.09	0.29	0.44	0.31	-0.05	-0.22	0.22	
1～3階建て程度の低層の住宅が立ち並んでいる住宅地	0.65	1.12	0.57	0.21	0.54	0.22	0.55	0.27	0.37	0.22	0.47	0.73	0.36	-0.10	-0.26	0.25	
住宅と工場や倉庫などの産業施設が混在する地域	0.58	1.09	0.55	0.22	0.48	0.18	0.44	0.21	0.33	0.07	0.28	0.50	0.06	-0.18	-0.38	0.23	
工場や倉庫などの産業施設などが立ち並ぶ地域	0.92	1.15	0.60	0.37	0.73	0.26	0.51	0.33	0.44	0.11	0.33	0.59	0.01	-0.13	-0.33	0.18	
住宅や商店・工場などと農地・林地が混在する地域	0.66	1.18	0.79	0.37	0.60	0.19	0.54	0.29	0.47	0.18	0.28	0.41	-0.09	-0.24	-0.31	0.36	
農地がひろがる中に住宅がある昔からの集落内	0.72	0.97	0.74	0.36	0.62	0.25	0.55	0.34	0.36	0.11	0.28	0.46	-0.06	-0.28	-0.32	0.30	
山林に囲まれた集落内	0.73	1.00	0.92	0.59	0.76	0.14	0.42	0.28	0.35	-0.03	-0.24	0.19	-0.27	-0.22	-0.16	0.41	
その他	0.53	1.27	0.72	0.33	0.90	0.17	0.67	0.27	0.67	0.14	0.23	0.50	-0.23	-0.30	-0.60	0.23	

「大変良い」=2点、「まあ良い」=1点、「どちらともいえない」=0点、「あまり良くない」=-1点、「非常に良くない」=-2点とし、
回答数により加重平均した値

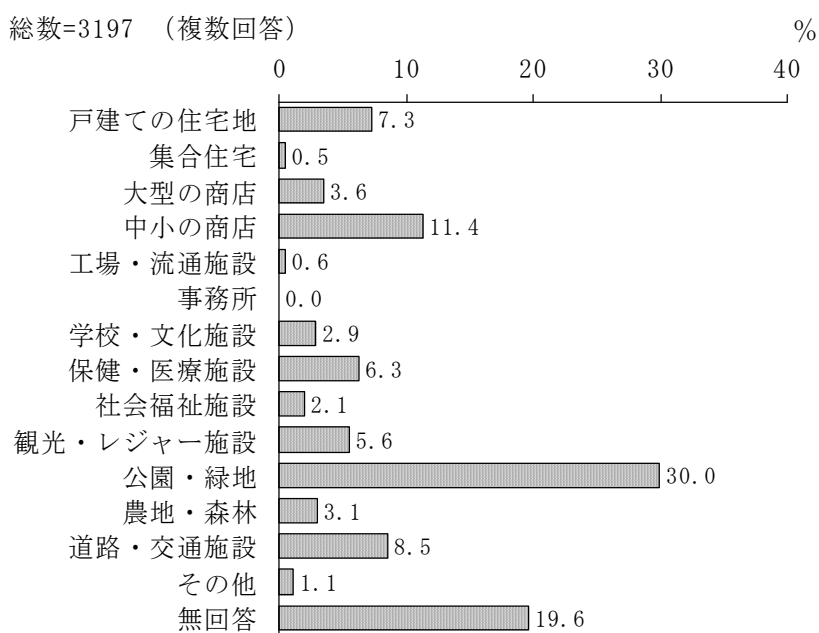
■ は評価点1位 ■ は評価点2位を示す

問5. あなたのお住まい周辺で、今後増えると良いと思われる土地利用は何ですか。また、減らしたい土地利用は何ですか。(各2つまで選択)

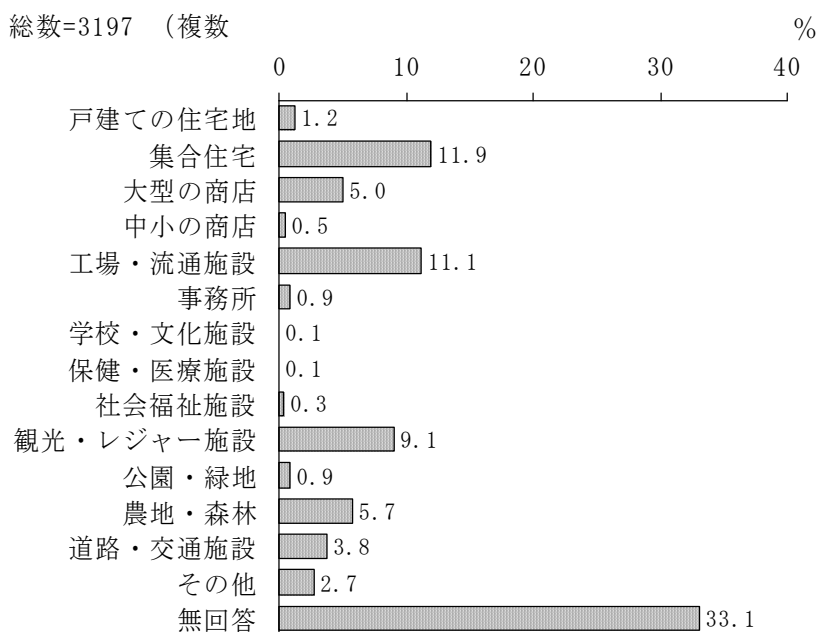
増やしたい土地利用では、「公園・緑地」が最も多く、次いで「中小の商店」、「道路・交通施設」、「戸建ての住宅地」の順で続いている。土地利用に求められるのは、うるおいやゆとりと利便性の両面があることを伺わせる。

逆に、減らしたい土地利用では、「集合住宅」、「工場・流通施設」、「観光・レジャー施設」に回答が集中している。ゆとりや静けさなどに反する要素が嫌われていることの現れとも見られる。

問5-1 増えると良い土地利用



問5-2 減らしたい土地利用

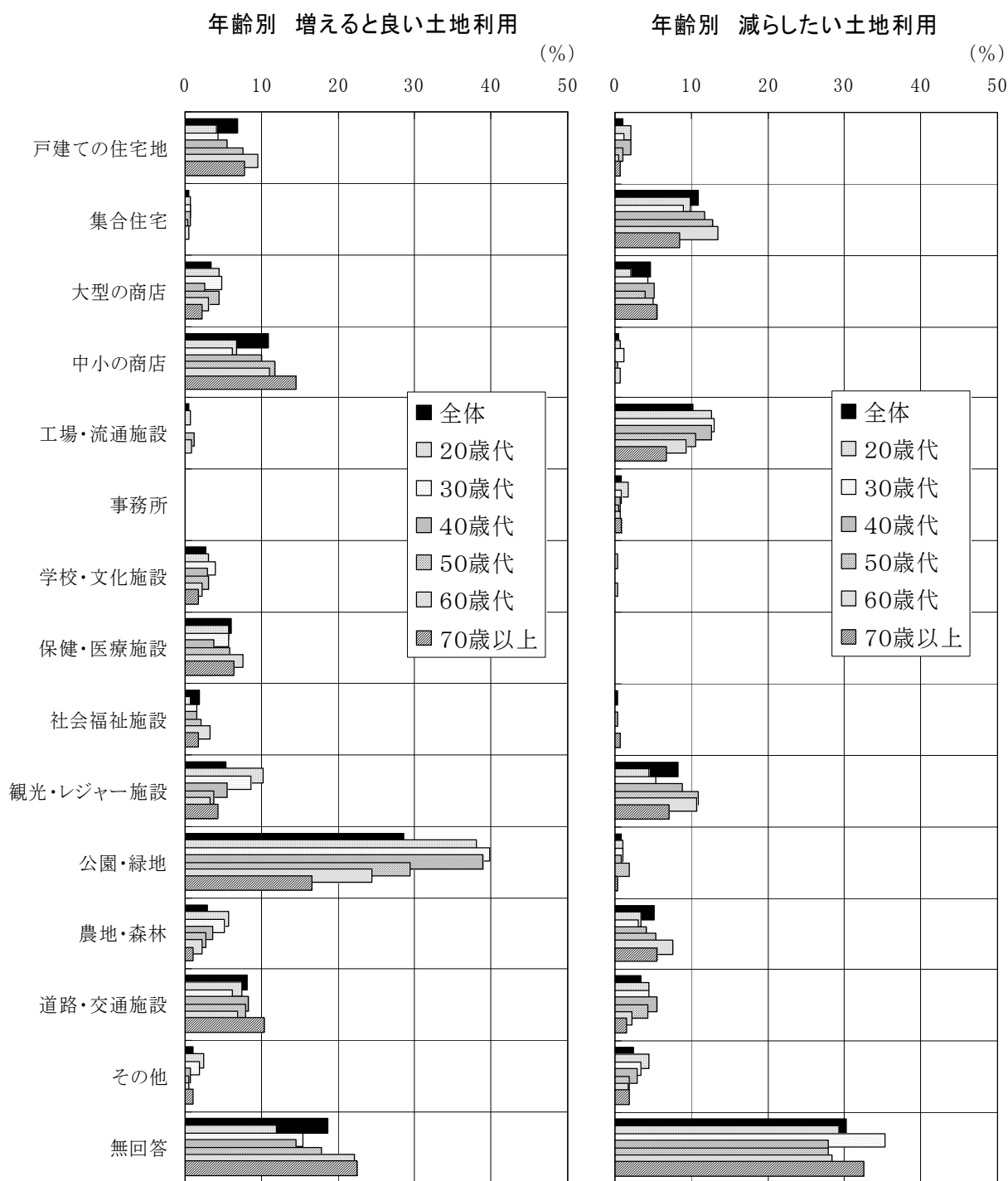


年齢別にみると、「公園・緑地」を増やしたいとするのは20～40歳代の比較的若い世代で多いのに対して、「中小の商店」や「戸建て住宅地」は年齢が高いほど多い傾向がある。

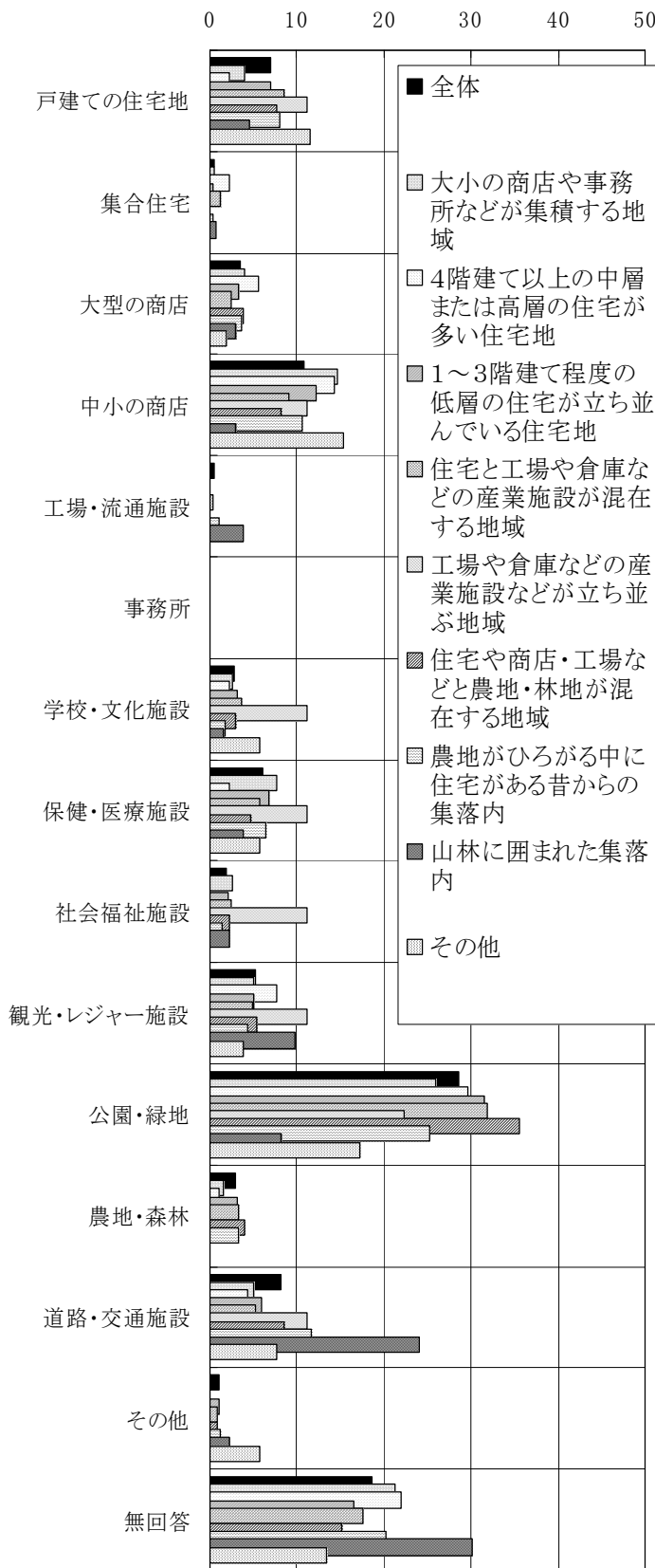
減らしたい土地利用では、「集合住宅」や「観光・レジャー施設」では年齢が高いほど多い反面、「工場・流通施設」は若い層で減らしたいという割合が高い傾向があり、世代による価値観の相違を反映しているとも見られる。

現状の土地利用状況別に増やしたい土地利用、減らしたい土地利用をみると、現状が農住工等の混在地である場合に、「公園・緑地」や「道路・交通施設」を求める割合が比較的高いこと、現状が産業施設集積地の場合に、「工場・流通施設」を減らしたい割合が高いこと等が読み取れる。

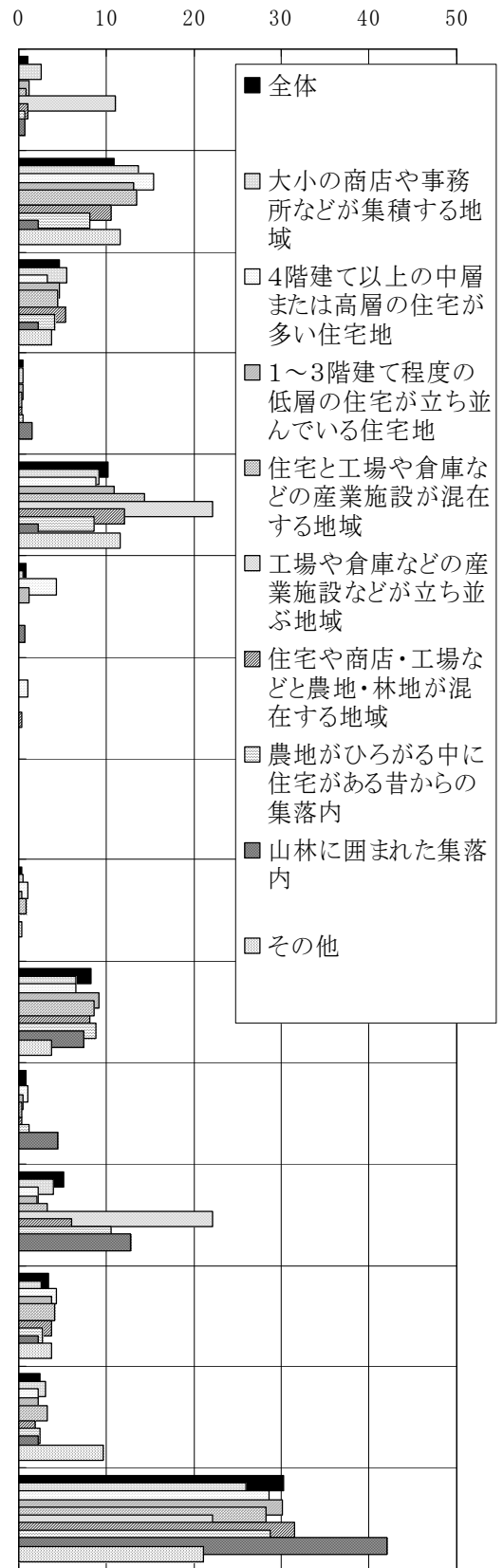
地区別では、「公園・緑地」を増やしたいとする割合が市街地部の各地区で比較的高く、「道路・交通施設」を増やしたいとする割合が北部山間の各地区で比較的高いこと等の特徴がみられる。



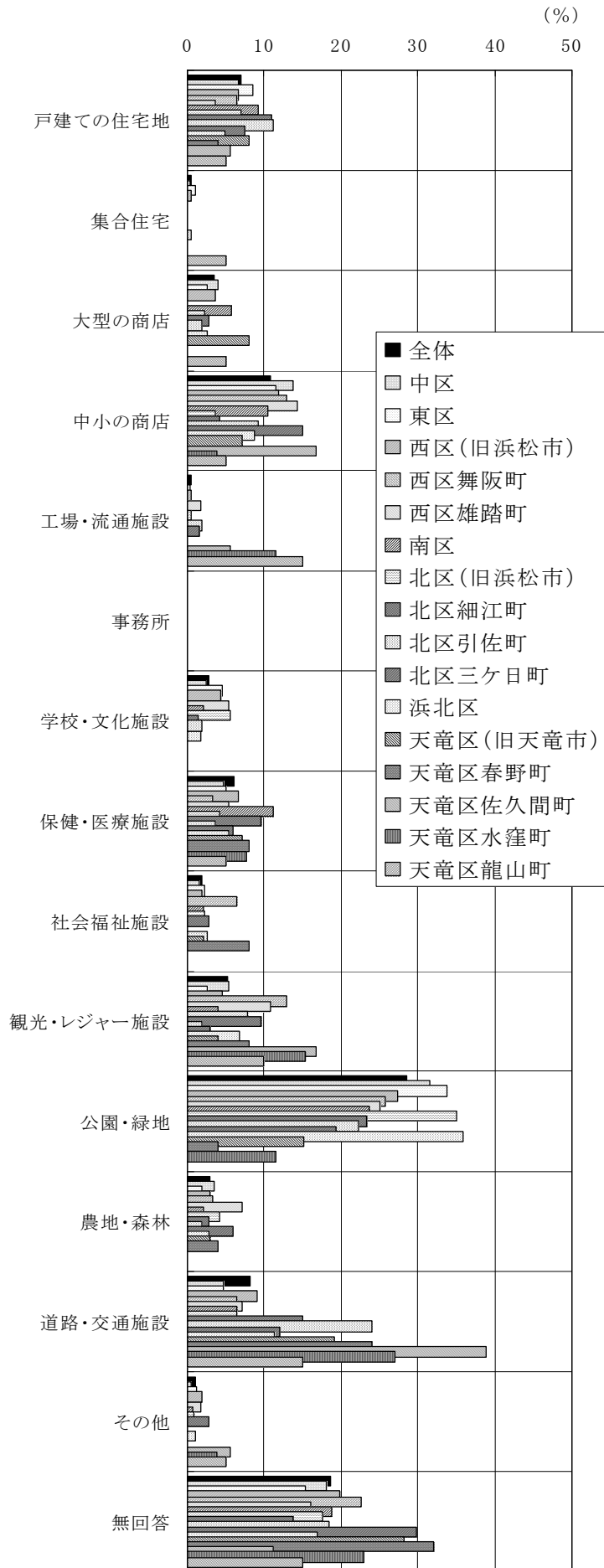
土地利用状況(居住地)別
増えると良い土地利用 (%)



土地利用状況(居住地)別
減らしたい土地利用 (%)



居住地区別 増えると良い土地利用



(4) 浜松市全体の土地利用について

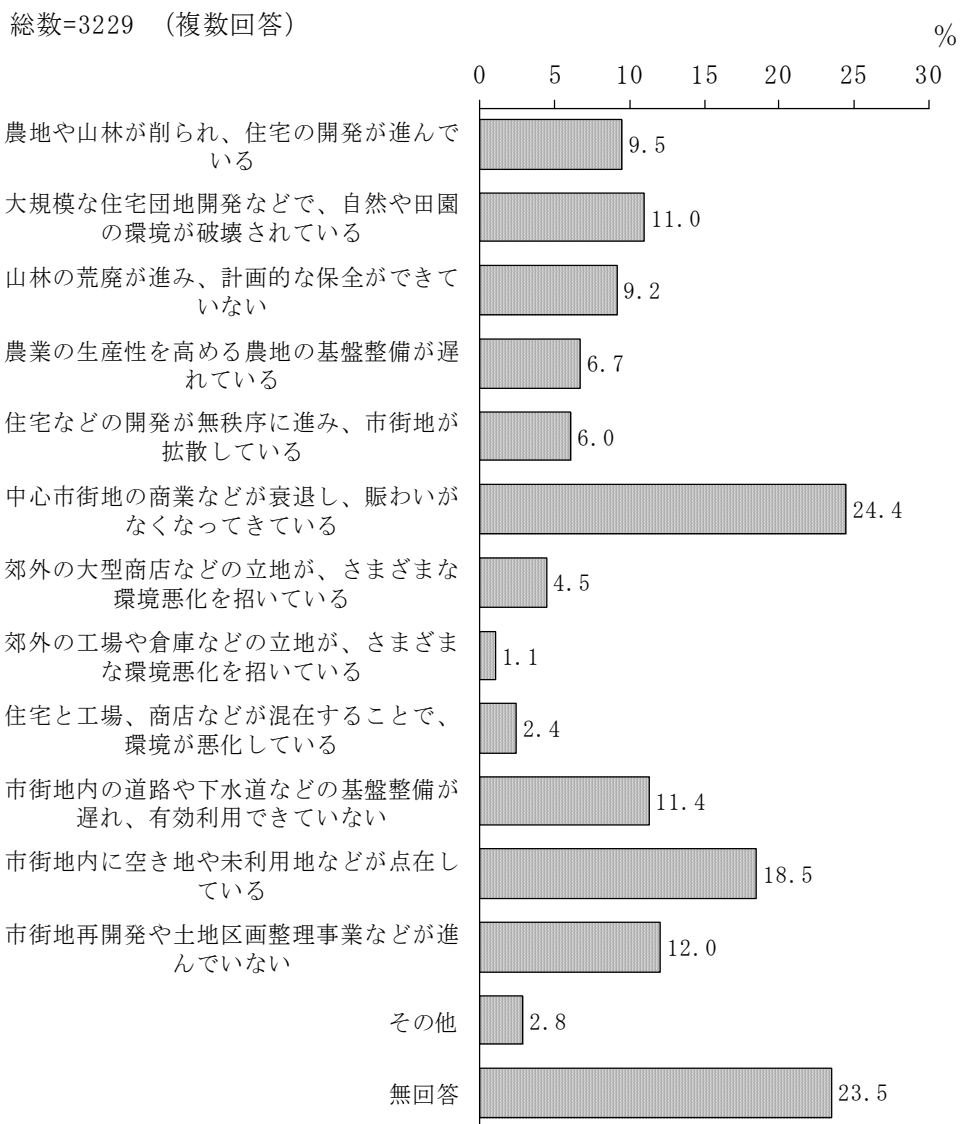
問6. 浜松市の現在の土地利用において、特にどのような点が問題だと思えますか。(3つまで選択)

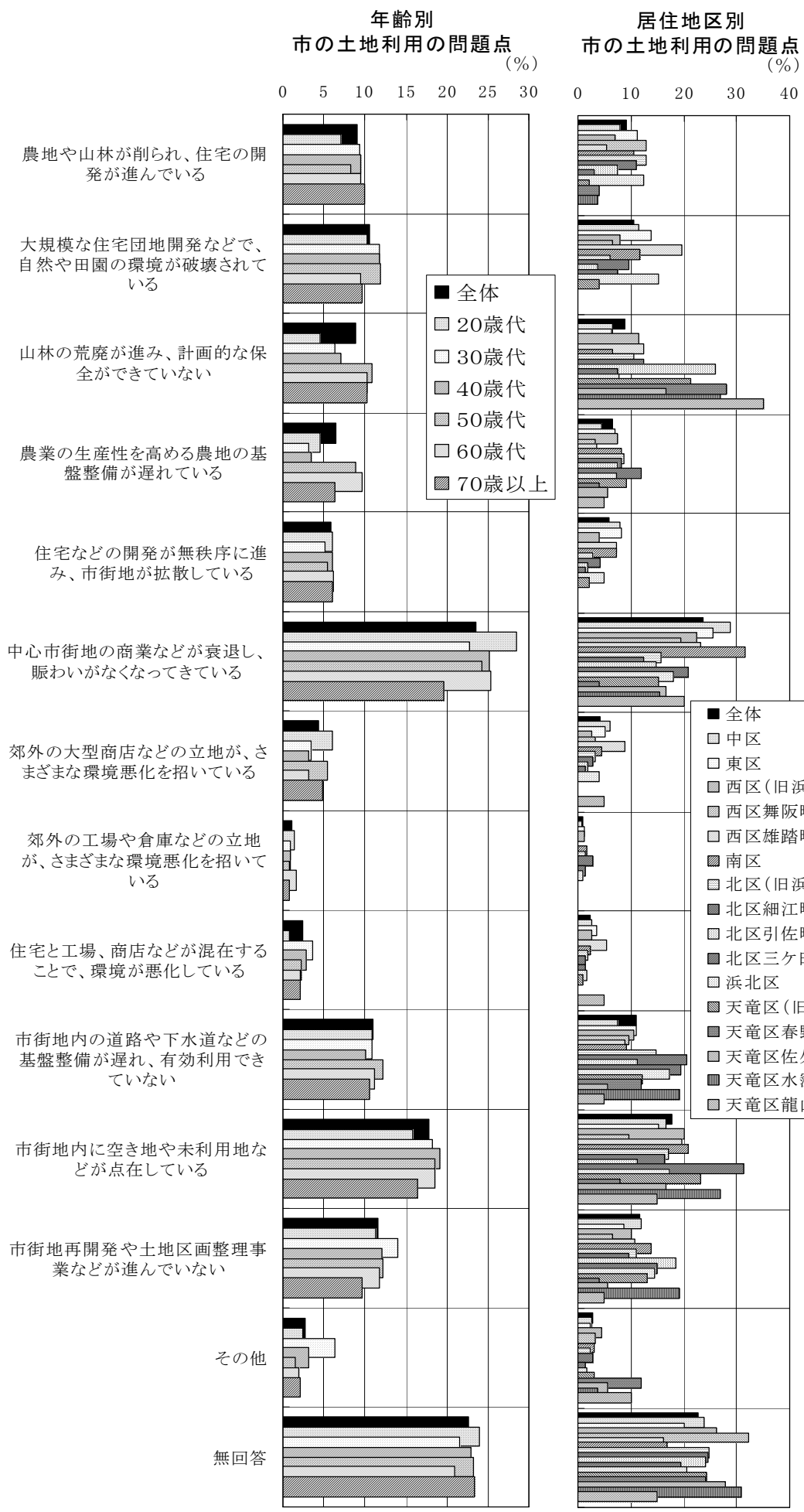
浜松市の土地利用上の問題点としては、「中心市街地の商業等の衰退、賑わいの減少」をあげる割合が最大であり、ほぼ4人にひとりが指摘している。また、「市街地内に空き地や未利用地が点在」をあげる回答がこれに次いでおり、これら市街地の空洞化現象が多く市民に問題視されていることがわかる。

これらの問題意識は、各年代層にほぼ共通しているが、「中心市街地の衰退」の指摘は20歳代で特に高い割合であることが注目される。

また、「中心市街地の衰退」は、市街地部各地区の住民が比較的多く問題視している反面、北部の各地区等では「山林の荒廃」への指摘が多いなどの相違が見られる。また、郊外部の各地区では「市街地の道路や下水道等の基盤整備の遅れ」をあげる割合が比較的高いなど、各地区の事情を反映した傾向が現れている。

問6 浜松市の土地利用の問題点



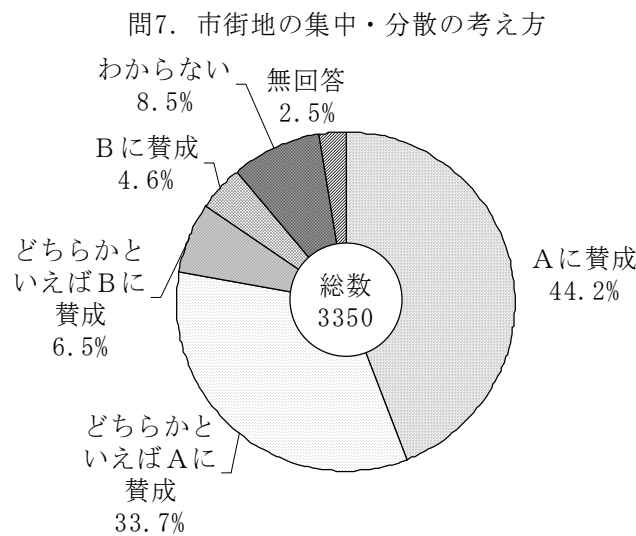


問7. 土地利用について、次の2つの考え方に関して、お答えください。

- A. 住宅、商業施設、工場や公共施設などの都市的な土地利用はできるだけ集約的に配置し、市街地の拡大を防ぎ、農地や山林等の自然環境を減らさないようにすべきだ。
- B. 都市的な土地利用はゆとりを持って分散化させ、農地や山林等の自然環境が減っても市街地を拡大させて良い。

これについてあなたはどのように思いますか。(ひとつ選択)

都市的土地利用の配置の集約または拡散への考え方を問う設問である。A（集約化）の考え方に賛同する回答が多くを占め、「どちらかといえばA」も含めると3/4以上が集約化の方向を求めている。この結果は、前問での中心市街地の衰退への問題意識と連動していると考えられる。



年齢別 集約・拡散への考え方

単位: %

	Aに賛成	どちらかといえばA	どちらかといえばB	Bに賛成	わからない	無回答
全体	44.2	33.7	6.5	4.6	8.5	2.5
20歳代	39.8	41.8	6.0	3.2	8.5	2.5
30歳代	38.1	42.0	7.2	4.0	8.1	2.5
40歳代	43.5	37.6	6.9	4.5	6.9	2.5
50歳代	47.8	30.8	8.3	6.5	5.3	2.5
60歳代	46.4	32.2	6.2	4.5	8.4	2.5
70歳以上	45.8	27.9	4.9	4.1	11.8	2.5

職業による相違をみると、農林水産業でAへの賛同比率が若干低い傾向があるが、全体としては大差ない。また、自動車保有状況との関係で、自動車を利用しにくい層でややB（拡散化）への支持率が高い傾向もある。

職業別 集約・拡散への考え方

単位：%

	Aに賛成	どちらかといえばA	どちらかといえばB	Bに賛成	わからない	無回答	
全体	44.2			33.7	6.5	4.6	8.5
農林水産業(自営・家族従事者)	42.1			28.9	8.6	7.9	8.6
商工・サービス・自由業(自営・家族従事者)	42.7			34.2	8.3	5.9	6.8
勤め人	44.4			35.1	8.1	5.6	6.2
パート・アルバイト	48.1			36.2	4.2	2.6	8.1
専業主婦(主夫)	42.0			36.8	6.8	2.8	9.4
学生	40.0			32.0	4.0	4.0	12.0
無職	44.6			30.3	4.8	4.4	11.2
その他	53.1			33.7	2.3	3.6	4.8

自動車保有別 集約・拡散への考え方

単位：%

	Aに賛成	どちらかといえばA	どちらかといえばB	Bに賛成	わからない	無回答	
全体	44.2			33.7	6.5	4.6	8.5
持っており運転できる	46.1			33.6	7.0	5.1	6.9
持っていないが家族など身近な人の車を運転できる	39.5			37.6	8.6	3.3	9.8
持っていないが家族など身近な人の車に同乗できる	40.4			35.2	3.8	3.8	12.8
運転・同乗できる車はない	43.4			27.6	4.1	2.8	13.1

地区別にみると、北区や天竜区の各地区でA（集約化）への支持割合がやや低下する傾向がみられる。農山村的环境が多いエリアでは、身近な部分での都市的機能の充実が求められることの反映とも考えられる。

居住地区別 集約・拡散への考え方

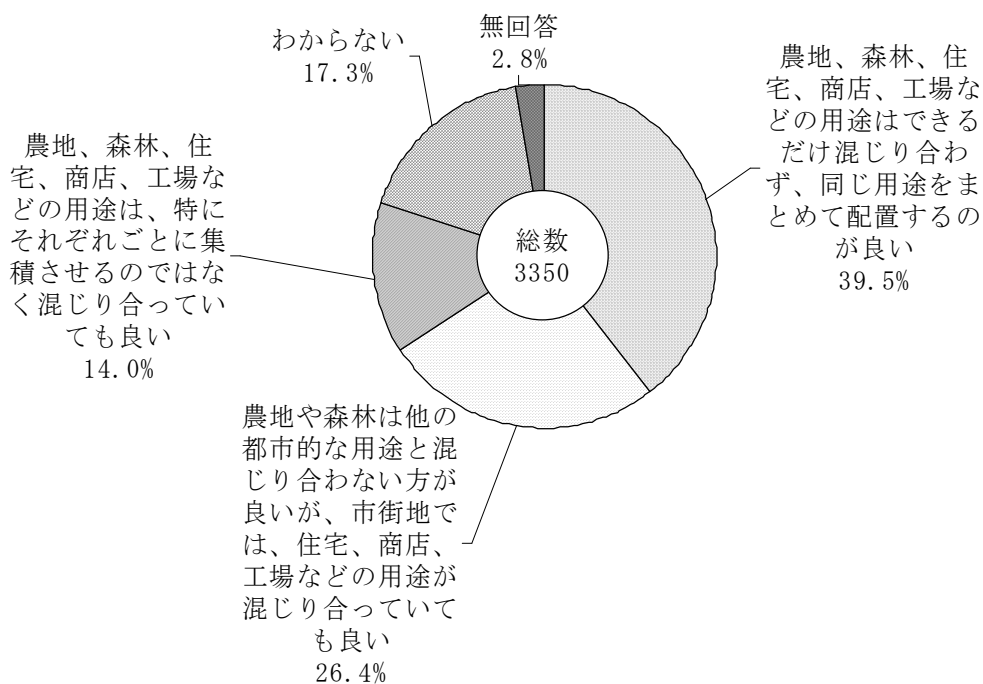
単位：%

	Aに賛成	どちらかといえばA	どちらかといえばB	Bに賛成	わからない	無回答		
全体	44.2			33.7	6.5	4.6	8.5	
中区	46.1			36.7	4.4	3.5	7.2	
東区	45.5			36.0	6.2	4.0	7.2	
西区(旧浜松市)	42.2			34.8	7.8	5.9	8.0	
西区舞阪町	38.7			48.4		3.0	3.2	6.5
西区雄踏町	46.5			32.1	3.6	8.9	8.9	
南区	43.7			34.8	5.0	4.8	10.3	
北区(旧浜松市)	51.6			28.6	5.1	4.1	7.8	
北区細江町	35.6			50.8	6.8	2.2	2.7	
北区引佐町	31.5			33.3	18.5	7.4	7.4	
北区三ヶ日町	35.8			35.8	11.9	9.0	3.0	
浜北区	48.9			30.2	7.1	3.1	9.0	
天竜区(旧天竜市)	35.4			20.2	20.2	8.1	14.1	
天竜区春野町	36.0			24.0	4.0	12.0	16.0	8.0
天竜区佐久間町	16.7			27.7	16.7	5.6	22.2	11.1
天竜区水窪町	34.7			26.9	7.7	3.8	19.2	7.7
天竜区龍山町	20.0			25.0	5.0	10.0	35.0	5.0

問8. 土地の利用にはいろいろな用途がありますが、その配置について、次の中からあなたのお考えに最も近いものを選んでください。(ひとつ選択)

土地利用の用途配置に関して、純化または混在への考え方を問う設問である。最も多いのは、土地利用の「純化」を求める回答であり、約4割がこの回答である。次いで、農林的利用と都市的利用は区分けし市街地では都市的各用途の混在を認めるという意見への支持が26%で続いている。農林的利用も含めた混在を是認する意見への支持は14%と比較的少ない。

問8. 用途の純化・混在の考え方



用途「純化」を求める割合は、男性の方がやや高く、また、勤め人や学生で比較的高い傾向がある。農林水産業では「混在」への支持が比較的高い。

性別 用途純化・混在への考え方

- 1) 農地、森林、住宅、商店、工場などの用途はできるだけ混じり合わず、同じ用途をまとめて配置するのが良い
- 2) 農地や森林は他の都市的な用途と混じり合わない方が良いが、市街地では、住宅、商店、工場などの用途が混じり合っても良い
- 3) 農地、森林、住宅、商店、工場などの用途は、特にそれぞれごとに集積させるのではなく混じり合っても良い
- 4) わからない
- 5) 無回答

	1	2	3	4	5
全体	39.5	26.4	14.0	17.3	2.8
男性	45.0	26.1	12.8	13.9	2.2
女性	35.5	26.9	14.9	19.9	2.8

職業別 用途純化・混在への考え方

- 1) 農地、森林、住宅、商店、工場などの用途はできるだけ混じり合わず、同じ用途をまとめて配置するのが良い
- 2) 農地や森林は他の都市的な用途と混じり合わない方が良いが、市街地では、住宅、商店、工場などの用途が混じり合っても良い
- 3) 農地、森林、住宅、商店、工場などの用途は、特にそれぞれごとに集積させるのではなく混じり合っても良い
- 4) わからない
- 5) 無回答

単位：％

	1	2	3	4	5
全体	39.5	26.4	14.0	17.3	2.8
農林水産業(自営・家族従事者)	32.2	25.7	20.4	16.4	5.3
商工・サービス・自由業(自営・家族従事者)	38.0	31.3	15.9	12.1	2.7
勤め人	44.2	28.7	13.6	12.8	0.7
パート・アルバイト	35.4	29.7	13.6	20.5	0.8
専業主婦(主夫)	38.0	28.5	13.4	17.5	2.6
学生	44.0	28.0	12.0	8.0	8.0
無職	38.8	20.2	12.6	23.6	4.8
その他	44.5	19.3	16.9	16.9	2.4

地区別にみると、北区の一部や天竜区など北部の各地区では「混在」への支持率が目立って高くなっている。

居住地区別 用途純化・混在への考え方

- 1) 農地、森林、住宅、商店、工場などの用途はできるだけ混じり合わず、同じ用途をまとめて配置するのが良い
- 2) 農地や森林は他の都市的な用途と混じり合わない方が良いが、市街地では、住宅、商店、工場などの用途が混じり合っても良い
- 3) 農地、森林、住宅、商店、工場などの用途は、特にそれぞれごとに集積させるのではなく混じり合っても良い
- 4) わからない
- 5) 無回答

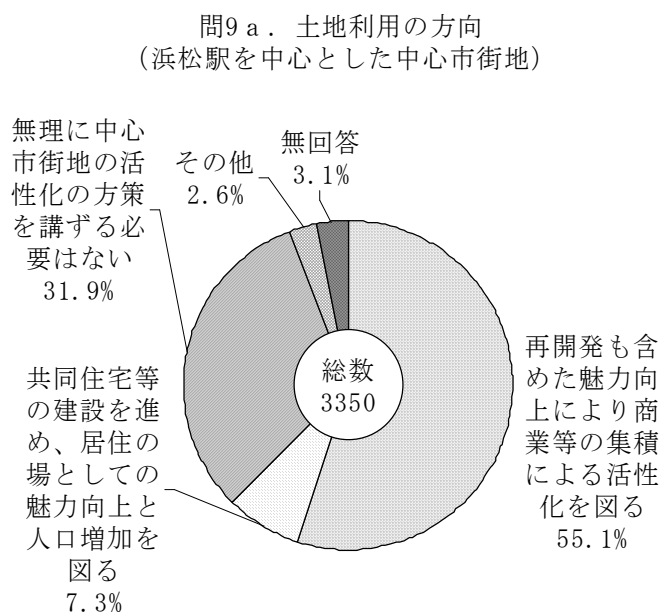
	1	2	3	4	5	
全体	39.5		26.4	14.0	17.3	2.8
中区	41.2		29.5	10.9	16.4	2.0
東区	37.4		29.1	14.5	17.7	1.3
西区(旧浜松市)	42.0		26.2	16.8	14.2	0.8
西区舞阪町	41.8		19.4	12.9	19.4	6.5
西区雄踏町	50.0		26.8	12.5	8.9	1.8
南区	39.2		26.5	13.1	19.1	2.1
北区(旧浜松市)	40.0		27.2	15.7	14.3	2.8
北区細江町	46.6		21.9	16.4	13.7	1.4
北区引佐町	27.8		29.6	22.2	20.4	0.0
北区三ヶ日町	38.8		20.9	22.4	14.9	3.0
浜北区	46.8		23.2	9.9	17.8	2.3
天竜区(旧天竜市)	26.3		29.3	24.2	17.2	3.0
天竜区春野町	24.0		24.0	28.0	16.0	8.0
天竜区佐久間町	16.7	11.1	11.1	50.0	11.1	
天竜区水窪町	15.4		19.2	30.8	26.9	7.7
天竜区龍山町	15.0		15.0	35.0	30.0	5.0

問9. あなたは、市内のうち次の各部分の土地利用の方向について、それぞれどのようにすることが最も望ましく、重要だと思いますか。(a～gまでの項目ごとにひとつずつ選択)

a) 浜松駅を中心とした中心市街地について

「再開発も含め商業等の集積による活性化」への支持が半数以上を占め最大であるが、一方で「無理に活性化方策を講ずる必要はない」とする意見も約3割ある。

「再開発も含め商業等の集積による活性化」への支持率は、若い世代ほど強く求める傾向があり、また、地元である中区も含め、市街地を多く含む各地区の居住者で比較的高い支持を集めている。



年齢別 土地利用方向 (浜松駅を中心とした中心市街地)

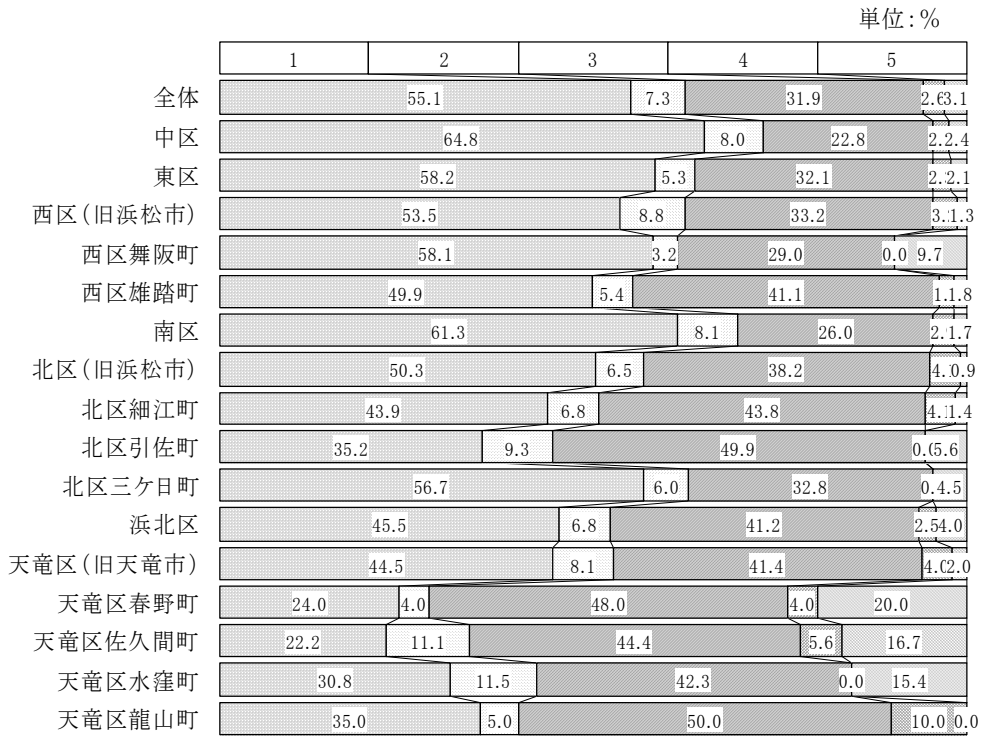
- 1) 再開発も含めた魅力向上により商業等の集積による活性化を図る
- 2) 共同住宅等の建設を進め、居住の場としての魅力向上と人口増加を図る
- 3) 無理に中心市街地の活性化の方策を講ずる必要はない
- 4) その他
- 5) 無回答

単位: %

	1	2	3	4	5
全体	55.1	7.3	31.9	2.6	3.1
20歳代	68.0	4.2	23.2	3.0	0.7
30歳代	58.0	8.7	28.9	4.0	0.4
40歳代	60.3	6.4	28.8	3.0	0.9
50歳代	55.6	7.0	33.9	1.1	1.8
60歳代	53.2	9.3	33.1	1.2	2.8
70歳以上	47.8	6.6	36.2	2.4	7.0

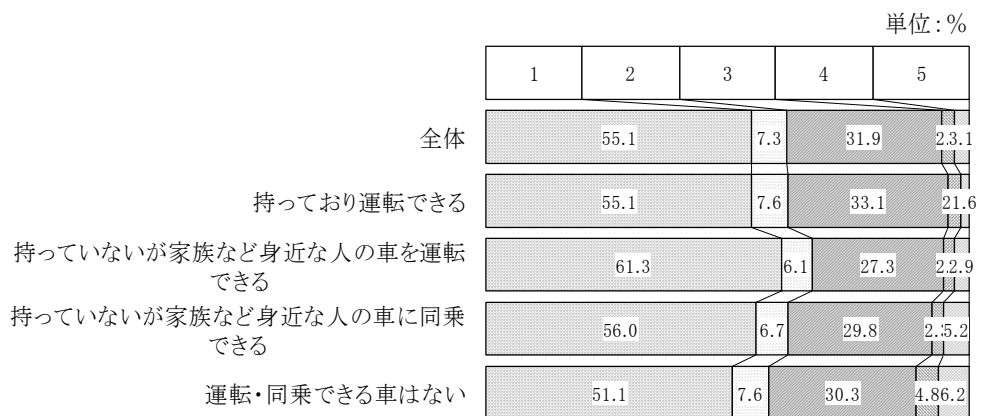
居住地区別 土地利用方向(浜松駅を中心とした中心市街地)

- 1) 再開発も含めた魅力向上により商業等の集積による活性化を図る
- 2) 共同住宅等の建設を進め、居住の場としての魅力向上と人口増加を図る
- 3) 無理に中心市街地の活性化の方策を講ずる必要はない
- 4) その他
- 5) 無回答



自動車保有別 土地利用方向(浜松駅を中心とした中心市街地)

- 1) 再開発も含めた魅力向上により商業等の集積による活性化を図る
- 2) 共同住宅等の建設を進め、居住の場としての魅力向上と人口増加を図る
- 3) 無理に中心市街地の活性化の方策を講ずる必要はない
- 4) その他
- 5) 無回答

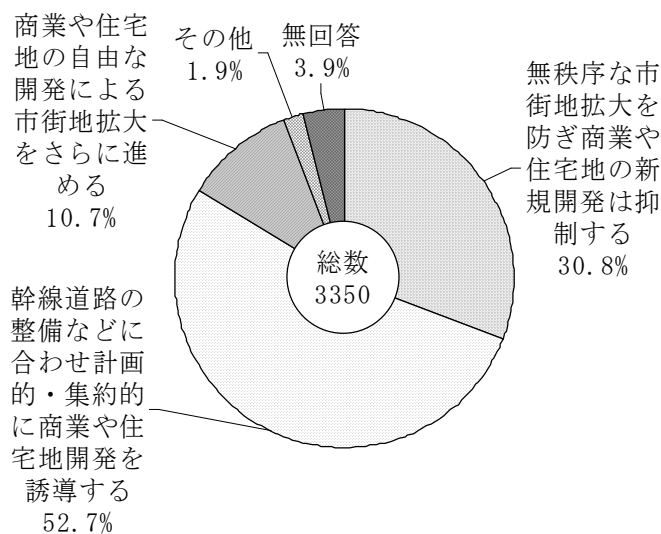


b) 比較的平坦な地形の郊外の市街地について

「道路整備等に合わせ計画的な商業や住宅地開発の誘導」が半数以上を占めている。「無秩序な市街地拡大の抑制」は約3割である。いずれにしても計画的な土地利用の規制や誘導が求められているといえる。

年齢別の相違はあまり目立たず、「無秩序な市街地拡大の抑制」への支持が北部の各地区の居住者ほどやや低くなる傾向もみられる。また、自動車を使いにくい世代で「計画的な商業や住宅地開発の誘導」への支持率がやや低下する傾向もある。

問9 b. 土地利用の方向
(比較的平坦な郊外の市街地)



年齢別 土地利用方向 (比較的平坦な地形の郊外の市街地)

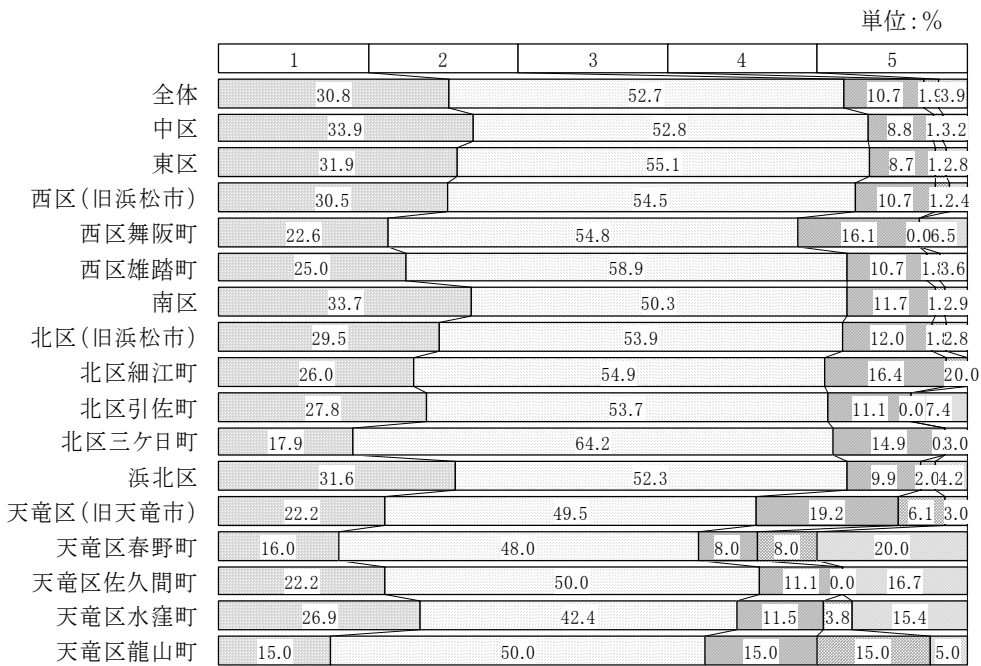
- 1) 無秩序な市街地拡大を防ぎ商業や住宅地の新規開発は抑制する
- 2) 幹線道路の整備などに合わせ計画的・集約的に商業や住宅地開発を誘導する
- 3) 商業や住宅地の自由な開発による市街地拡大をさらに進める
- 4) その他
- 5) 無回答

単位: %

	1	2	3	4	5
全体	30.8	52.7	10.7	1.9	3.9
20歳代	29.9	54.9	10.6	2.1	1.8
30歳代	30.2	58.5	9.4	1.0	1.4
40歳代	30.9	57.3	9.0	1.0	1.9
50歳代	32.3	55.3	8.9	1.2	1.5
60歳代	32.9	51.7	10.6	1.3	1.8
70歳以上	28.8	45.3	13.8	3.2	8.9

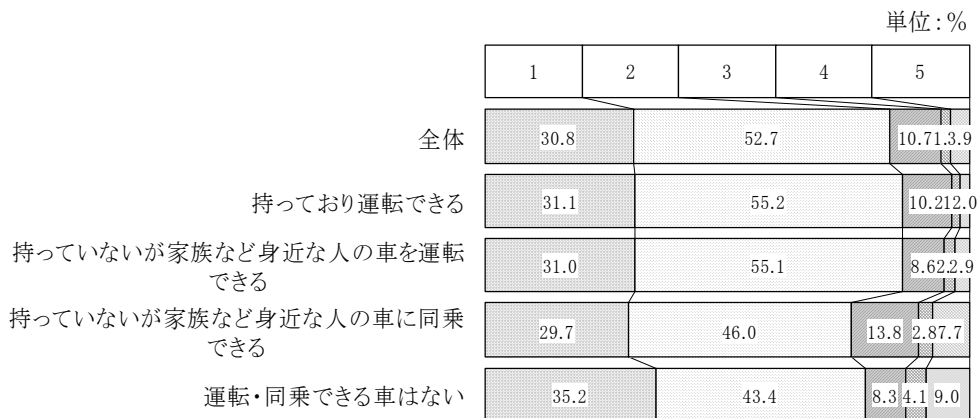
居住地区別 土地利用方向(比較的平坦な地形の郊外の市街地)

- 1) 無秩序な市街地拡大を防ぎ商業や住宅地の新規開発は抑制する
- 2) 幹線道路の整備などに合わせ計画的・集約的に商業や住宅地開発を誘導する
- 3) 商業や住宅地の自由な開発による市街地拡大をさらに進める
- 4) その他
- 5) 無回答



自動車保有別 土地利用方向(比較的平坦な地形の郊外の市街地)

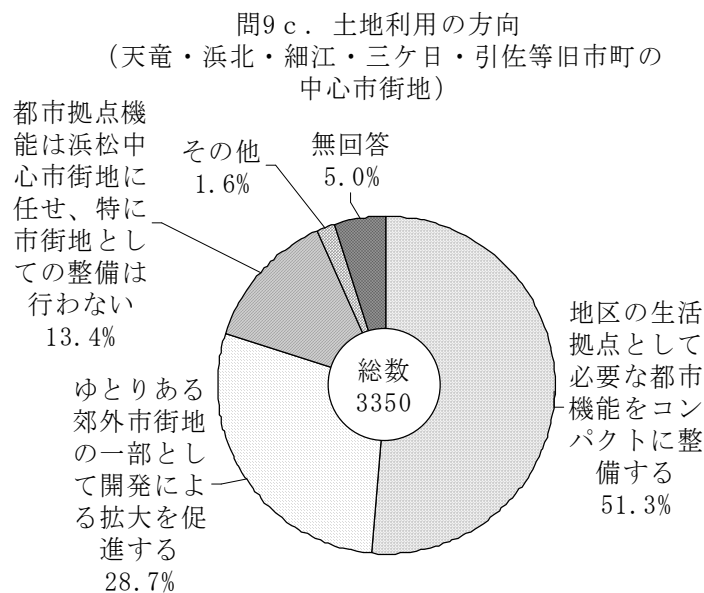
- 1) 無秩序な市街地拡大を防ぎ商業や住宅地の新規開発は抑制する
- 2) 幹線道路の整備などに合わせ計画的・集約的に商業や住宅地開発を誘導する
- 3) 商業や住宅地の自由な開発による市街地拡大をさらに進める
- 4) その他
- 5) 無回答



c) 天竜・浜北・細江・三ヶ日・引佐等旧市町の中心市街地について

「生活拠点として都市機能をコンパクトに整備」が約半数を占め最大である。「郊外市街地として開発による拡大促進」は3割弱を占める。

年齢による傾向の大きな差異はなく、居住地区によっても、無回答を除けば優位な差は認められない。なお、自動車を使いにくい層で「都市機能をコンパクトに整備」への支持率が比較的低くなる傾向がある。



年齢別 土地利用方向 (天竜・浜北・細江・三ヶ日・引佐等旧市町の中心市街地)

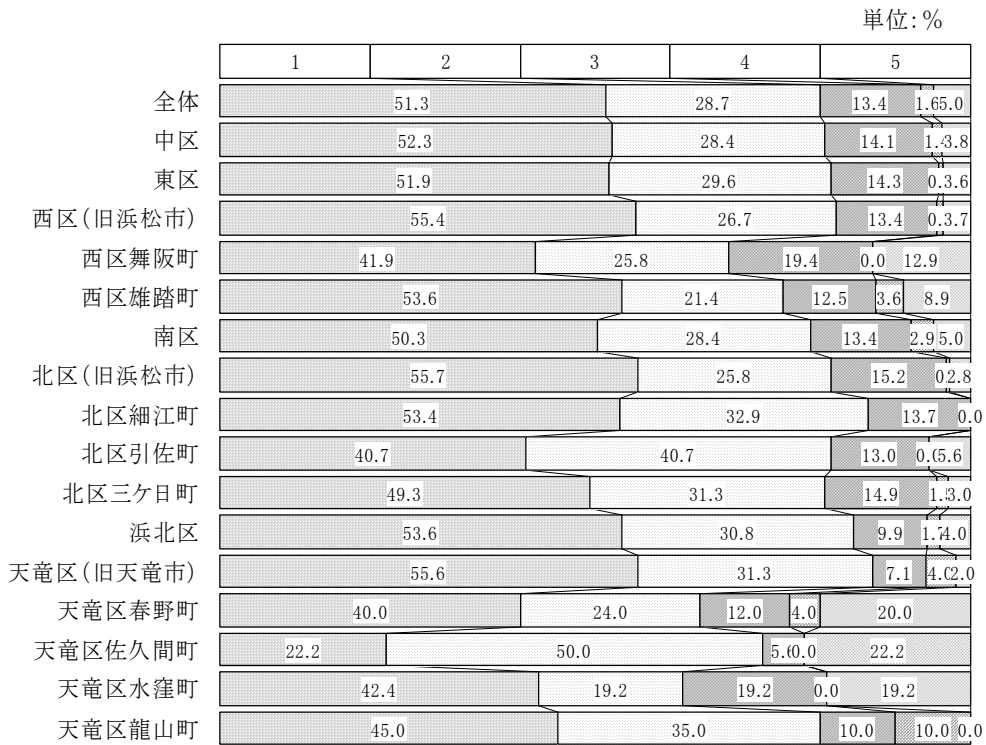
- 1) 地区の生活拠点として必要な都市機能をコンパクトに整備する
- 2) ゆとりある郊外市街地の一部として開発による拡大を促進する
- 3) 都市拠点機能は浜松中心市街地に任せ、特に市街地としての整備は行わない
- 4) その他
- 5) 無回答

単位: %

	1	2	3	4	5
全体	51.3	28.7	13.4	1.6	5.0
20歳代	56.0	27.1	13.7	2.1	1.1
30歳代	57.0	26.8	14.5	10.0	
40歳代	58.6	25.1	12.4	2.1	1.5
50歳代	55.5	29.0	12.4	0.2	3.8
60歳代	49.1	32.7	13.5	0.3	3.8
70歳以上	41.5	29.2	14.1	2.1	13.1

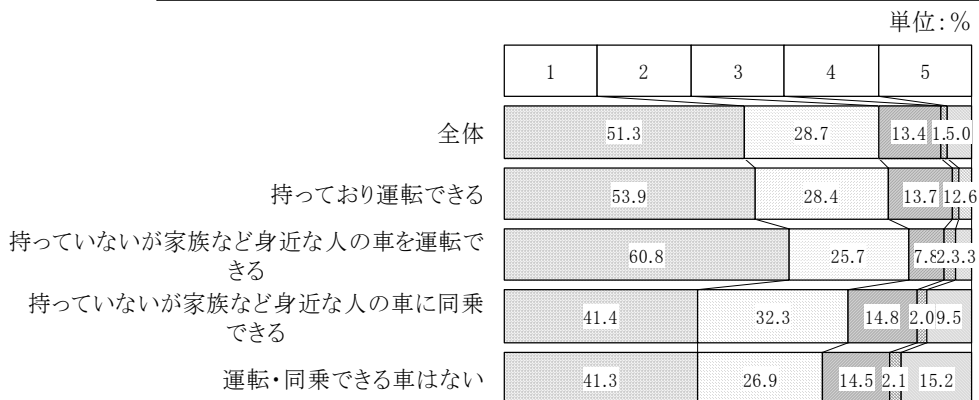
居住地区別 土地利用方向(天竜・浜北・細江・三ヶ日・引佐等旧市町の中心市街地)

- 1) 地区の生活拠点として必要な都市機能をコンパクトに整備する
- 2) ゆとりある郊外市街地の一部として開発による拡大を促進する
- 3) 都市拠点機能は浜松中心市街地に任せ、特に市街地としての整備は行わない
- 4) その他
- 5) 無回答



自動車保有別 土地利用方向(天竜・浜北・細江・三ヶ日・引佐等旧市町の中心市街地)

- 1) 地区の生活拠点として必要な都市機能をコンパクトに整備する
- 2) ゆとりある郊外市街地の一部として開発による拡大を促進する
- 3) 都市拠点機能は浜松中心市街地に任せ、特に市街地としての整備は行わない
- 4) その他
- 5) 無回答

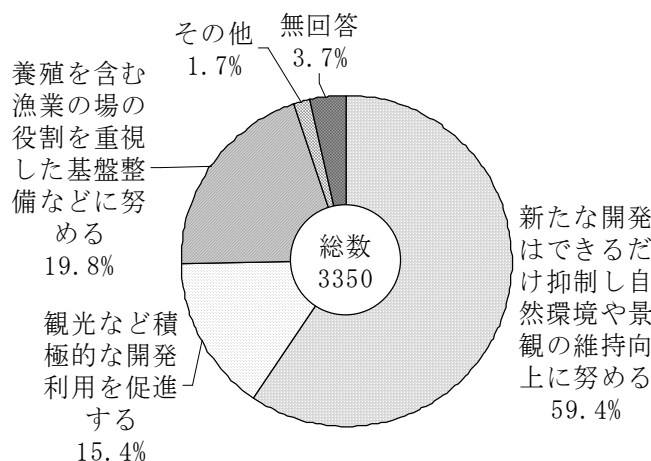


d) 浜名湖沿岸の一带について

「新たな開発は抑制し自然や景観の維持向上」への支持が6割近くに達している。「漁業の場としての基盤整備」は約2割であるほか、「観光など積極的な開発利用促進」は約15%である。

「漁業の場としての基盤整備」の支持割合が、40歳代以下の若い世代でやや多いほか、西区舞阪町、雄踏町など漁業を抱える地区で目立って多いという特徴もある。自動車保有状況による大きな差異は見られない。

問9 d. 土地利用の方向
(浜名湖沿岸の一带)



年齢別 土地利用方向(浜名湖沿岸の一带)

- 1) 新たな開発はできるだけ抑制し自然環境や景観の維持向上に努める
- 2) 観光など積極的な開発利用を促進する
- 3) 養殖を含む漁業の場の役割を重視した基盤整備などに努める
- 4) その他
- 5) 無回答

単位: %

	1	2	3	4	5
全体	59.4	15.4	19.8	1.7	3.7
20歳代	56.0	16.5	25.0	2.0	0.4
30歳代	57.6	17.9	21.9	2.0	0.0
40歳代	59.0	15.2	23.2	10.9	0.0
50歳代	63.0	14.9	18.7	2.1	0.2
60歳代	63.8	14.1	18.0	0.3	0.2
70歳以上	56.0	15.2	17.4	1.3	10.1

居住地区別 土地利用方向(浜名湖沿岸の一帯)

- 1) 新たな開発はできるだけ抑制し自然環境や景観の維持向上に努める
- 2) 観光など積極的な開発利用を促進する
- 3) 養殖を含む漁業の場の役割を重視した基盤整備などに努める
- 4) その他
- 5) 無回答

単位：%

	1	2	3	4	5	
全体	59.4			15.4	19.8	1.3.7
中区	58.9			16.2	20.4	2.2.4
東区	64.5			11.5	20.4	1.2.3
西区(旧浜松市)	58.4			20.3	18.4	11.6
西区舞阪町	48.4		12.9		38.7	0.0
西区雄踏町	44.6		17.9		33.9	3.0.0
南区	58.7			16.2	19.1	1.74.3
北区(旧浜松市)	62.2			14.7	19.4	0.2.8
北区細江町	71.3			13.7	12.3	20.0
北区引佐町	59.2			11.1	20.4	0.0 9.3
北区三ヶ日町	67.2			16.4	13.4	30.0
浜北区	62.2			14.1	18.6	1.4.0
天竜区(旧天竜市)	45.5		19.2		29.3	3.03.0
天竜区春野町	52.0		4.0	24.0	4.0	16.0
天竜区佐久間町	66.7		0.0	11.1	0.0	22.2
天竜区水窪町	46.2		11.5	23.1	0.0	19.2
天竜区龍山町	60.0			10.0	15.0	5.0 10.0

自動車保有別 土地利用方向(浜名湖沿岸の一帯)

- 1) 新たな開発はできるだけ抑制し自然環境や景観の維持向上に努める
- 2) 観光など積極的な開発利用を促進する
- 3) 養殖を含む漁業の場の役割を重視した基盤整備などに努める
- 4) その他
- 5) 無回答

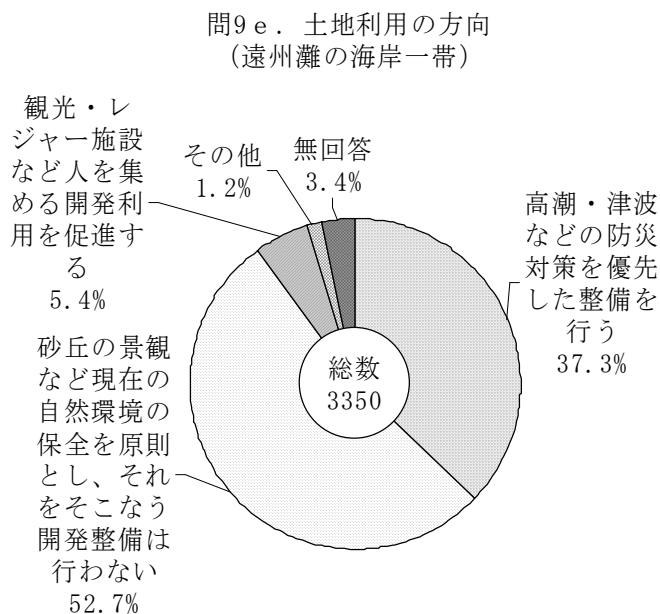
単位：%

	1	2	3	4	5	
全体	59.4			15.4	19.8	1.3.7
持っており運転できる	60.2			16.3	19.8	12.0
持っていないが家族など身近な人の車を運転できる	61.3			11.0	23.3	22.0
持っていないが家族など身近な人の車に同乗できる	59.2			14.7	17.8	1.6.8
運転・同乗できる車はない	53.8		12.4		24.1	1.48.3

e) 遠州灘の海岸一帯について

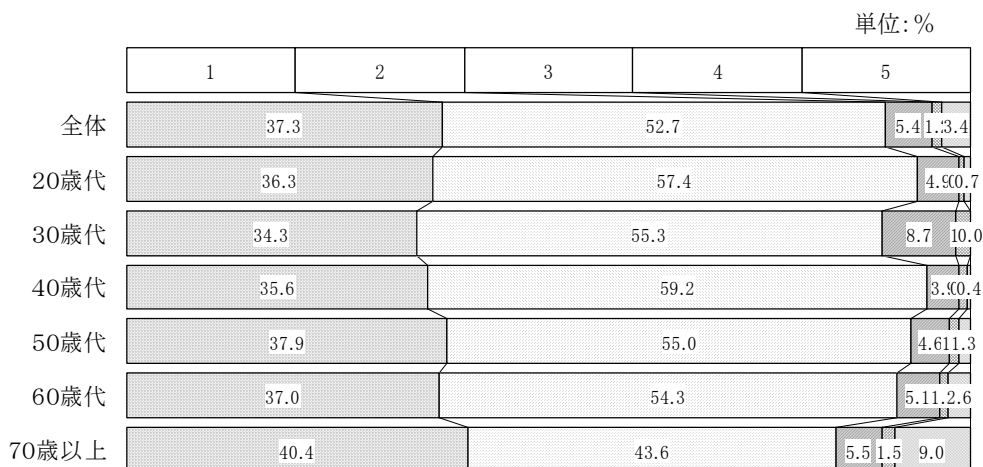
「現在の自然環境保全を原則とする」が半数以上を占めている。「防災対策を優先」がこれに続き、この両者で9割を占め、「開発利用促進」は少数派となっている。

年齢による目立った差異はないが、地区別では、海岸を抱える南区や西区舞阪町等で、「防災対策を優先」の割合が比較的高いのが注目される。



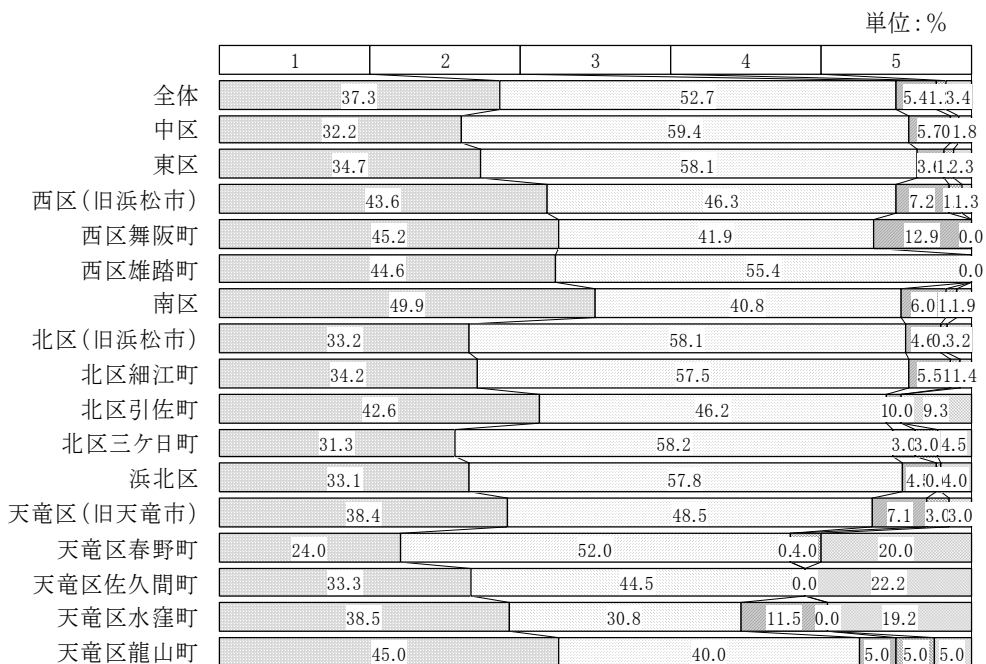
年齢別 土地利用方向(遠州灘の海岸一帯)

- 1) 高潮・津波などの防災対策を優先した整備を行う
- 2) 砂丘の景観など現在の自然環境の保全を原則とし、それをそこなう開発整備は行わない
- 3) 観光・レジャー施設など人を集める開発利用を促進する
- 4) その他
- 5) 無回答



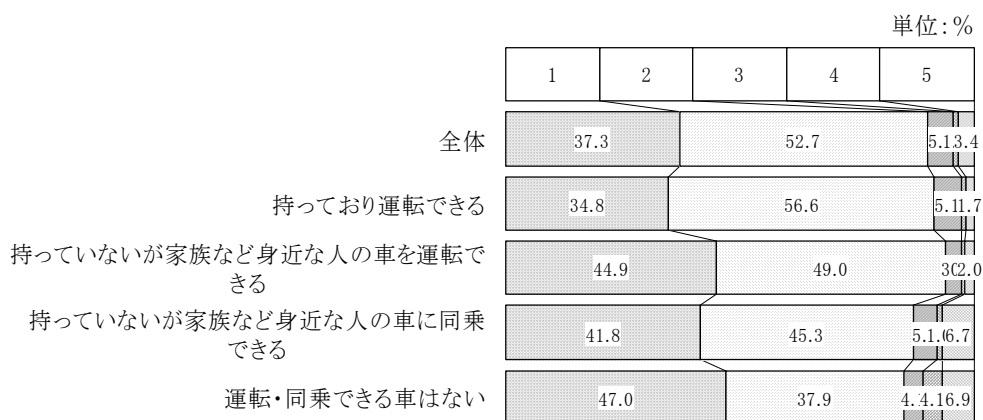
居住地区別 土地利用方向（遠州灘の海岸一帯）

- 1) 高潮・津波などの防災対策を優先した整備を行う
- 2) 砂丘の景観など現在の自然環境の保全を原則とし、それをそこなう開発整備は行わない
- 3) 観光・レジャー施設など人を集める開発利用を促進する
- 4) その他
- 5) 無回答



自動車保有別 土地利用方向（遠州灘の海岸一帯）

- 1) 高潮・津波などの防災対策を優先した整備を行う
- 2) 砂丘の景観など現在の自然環境の保全を原則とし、それをそこなう開発整備は行わない
- 3) 観光・レジャー施設など人を集める開発利用を促進する
- 4) その他
- 5) 無回答

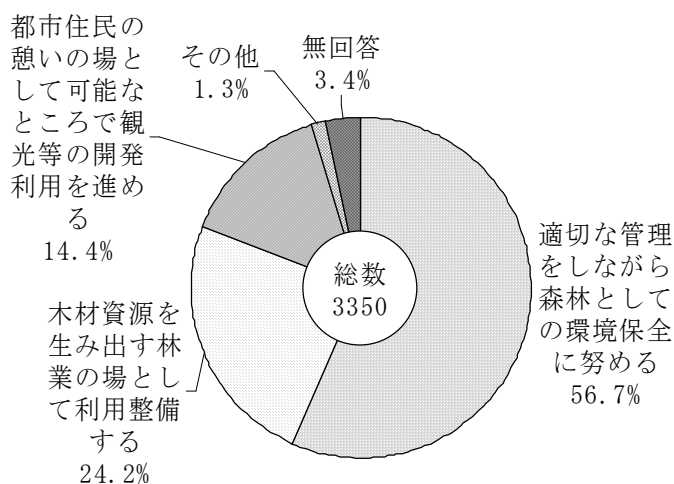


f) 天竜区・北区等の森林について

「適切な管理をしながら森林の環境保全」が半数を超えている。「林業の場としての利用整備」が24%でこれに続き、「観光等の開発利用」は14%にとどまっている。

年齢が高くなるほど「林業の場としての利用整備」の割合が高くなる傾向が見られ、また、北部の森林を多く抱える地区の居住者では「林業の場としての利用整備」の割合が比較的高いのが特徴的である。

問9 f . 土地利用の方向
(天竜区・北区等の森林)



年齢別 土地利用方向(天竜区・北区等の森林)

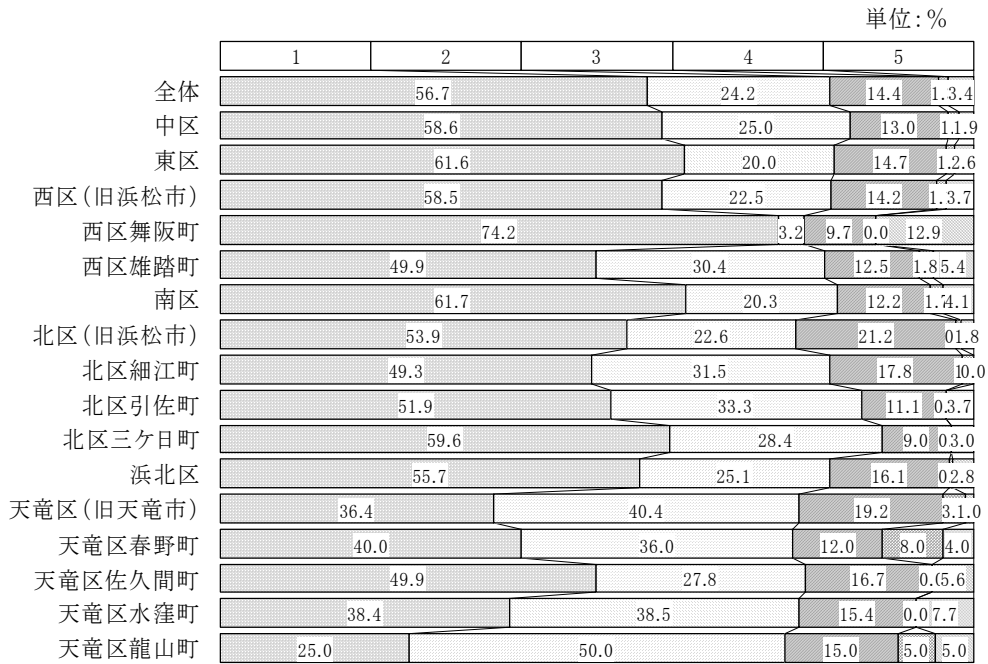
- 1) 適切な管理をしながら森林としての環境保全に努める
- 2) 木材資源を生み出す林業の場としての利用整備する
- 3) 都市住民の憩いの場として可能なところで観光等の開発利用を進める
- 4) その他
- 5) 無回答

単位: %

	1	2	3	4	5
全体		56.7		24.2	14.4 1.3 3.4
20歳代		66.6		15.8	15.8 10.7
30歳代		63.5		18.9	15.7 10.4
40歳代		63.6		24.0	9.9 10.6
50歳代		56.9		27.5	12.6 1.1 1.7
60歳代		53.3		27.6	16.5 0.1 1.7
70歳以上		49.4		24.9	15.2 1.2 9.3

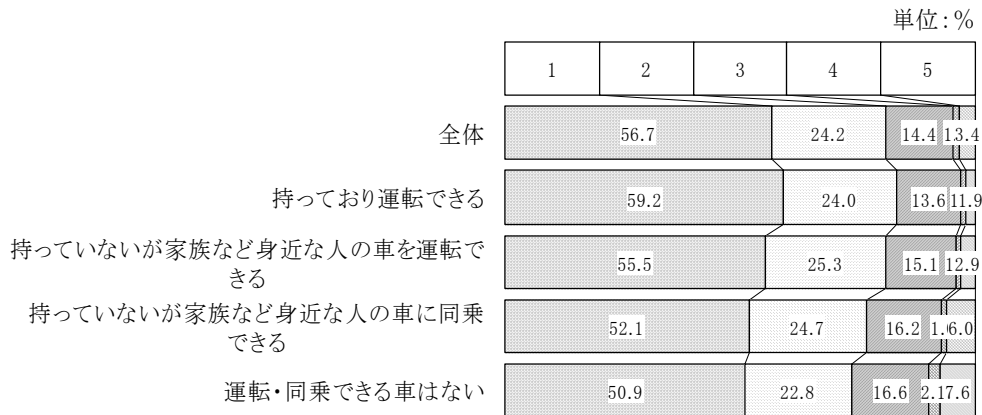
居住地区別 土地利用方向(天竜区・北区等の森林)

- 1) 適切な管理をしながら森林としての環境保全に努める
- 2) 木材資源を生み出す林業の場として利用整備する
- 3) 都市住民の憩いの場として可能なところで観光等の開発利用を進める
- 4) その他
- 5) 無回答



自動車保有別 土地利用方向(天竜区・北区等の森林)

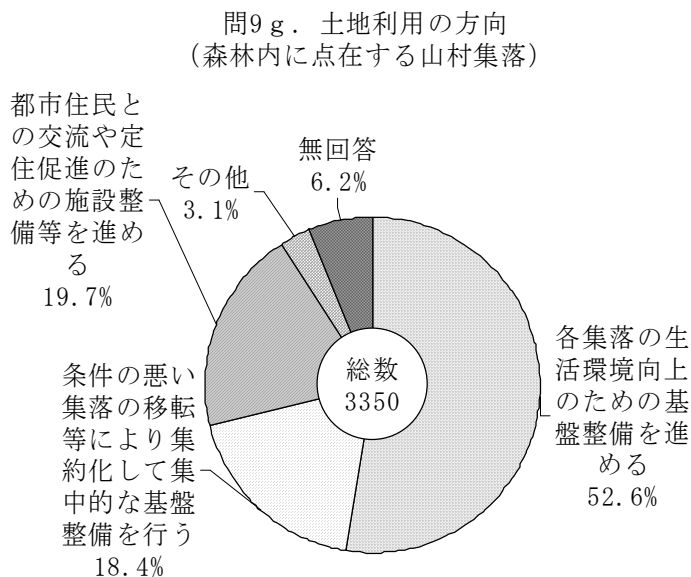
- 1) 適切な管理をしながら森林としての環境保全に努める
- 2) 木材資源を生み出す林業の場として利用整備する
- 3) 都市住民の憩いの場として可能なところで観光等の開発利用を進める
- 4) その他
- 5) 無回答



g) 森林内に点在する山村集落について

「集落の生活基盤整備を進める」が約半数強を占めている。「交流や定住促進のための施設整備等」が約2割で続き、「集落移転等による集約化等」も2割近い支持を集めている。

年齢による大きな差異はないが、居住地区別では、北部山間部の各地区の居住者で、「集落の生活基盤整備を進める」への支持率が比較的高い傾向があるように見える。



年齢別 土地利用方向 (森林内に点在する山村集落)

- 1) 各集落の生活環境向上のための基盤整備を進める
- 2) 条件の悪い集落の移転等により集約化して集中的な基盤整備を行う
- 3) 都市住民との交流や定住促進のための施設整備等を進める
- 4) その他
- 5) 無回答

単位: %

	1	2	3	4	5
全体	52.6	18.4	19.7	3.1	6.2
20歳代	57.7	19.0	20.8	10.7	
30歳代	56.8	18.3	19.1	4.3	1.5
40歳代	58.2	19.7	16.7	3.9	1.5
50歳代	57.5	15.4	20.7	2.6	3.8
60歳代	50.8	20.5	20.8	2.8	5.1
70歳以上	44.0	18.1	19.9	3.0	15.0

居住地区別 土地利用方向（森林内に点在する山村集落）

- 1) 各集落の生活環境向上のための基盤整備を進める
- 2) 条件の悪い集落の移転等により集約化して集中的な基盤整備を行う
- 3) 都市住民との交流や定住促進のための施設整備等を進める
- 4) その他
- 5) 無回答

単位：％

	1	2	3	4	5
全体		52.6	18.4	19.7	3.1 6.2
中区		53.8	18.6	19.9	2.8 4.9
東区		55.8	18.7	16.6	4.0 4.9
西区(旧浜松市)		49.5	20.3	23.0	2.4 4.8
西区舞阪町		58.1	12.9	12.9	0.0 16.1
西区雄踏町		44.6	23.2	21.4	5.4 5.4
南区		50.9	19.3	19.8	3.3 6.7
北区(旧浜松市)		52.5	16.6	21.7	4.1 5.1
北区細江町		47.9	23.3	21.9	1.4 5.5
北区引佐町		68.5		13.0	14.8 0.3 7
北区三ヶ日町		58.2		17.9	19.4 1.3 0
浜北区		52.0	17.8	21.5	3.1 5.6
天竜区(旧天竜市)		52.5	21.2	21.2	0.6 1
天竜区春野町		64.0	8.0	24.0	4.0 0
天竜区佐久間町		61.1	5.6	11.1	0.0 22.2
天竜区水窪町		53.9	15.4	11.5	7.7 11.5
天竜区龍山町		60.0		25.0	10.0 5.0 0

自動車保有別 土地利用方向（森林内に点在する山村集落）

- 1) 各集落の生活環境向上のための基盤整備を進める
- 2) 条件の悪い集落の移転等により集約化して集中的な基盤整備を行う
- 3) 都市住民との交流や定住促進のための施設整備等を進める
- 4) その他
- 5) 無回答

単位：％

	1	2	3	4	5
全体		52.6	18.4	19.7	3.1 6.2
持っており運転できる		53.9	19.8	19.4	3.3 3.9
持っていないが家族など身近な人の車を運転できる		51.9	16.7	22.0	3.3 6.1
持っていないが家族など身近な人の車に同乗できる		51.1	15.2	19.8	3.7 10.2
運転・同乗できる車はない		46.8	13.1	21.4	2.1 16.6

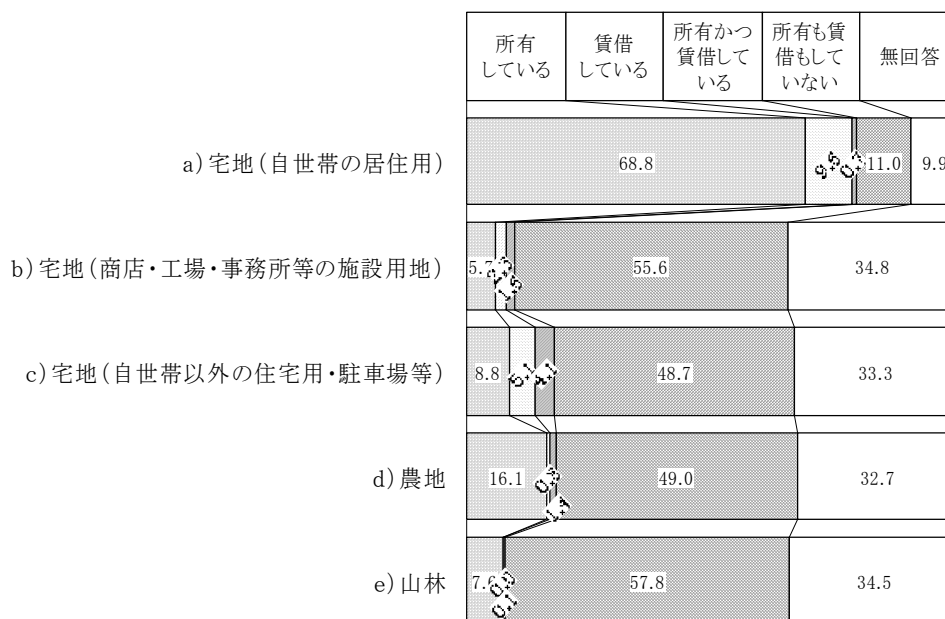
(5) 土地の所有等の状況と、所有している土地の利用について

問 10. あなたまたはあなたの世帯は、次の土地を市内に所有（または賃借）していますか。（a～e までの土地についてひとつずつ選択）

「所有している」割合は自らの居住用の宅地で7割弱、農地で約16%である。

問10 土地の所有関係

単位：%

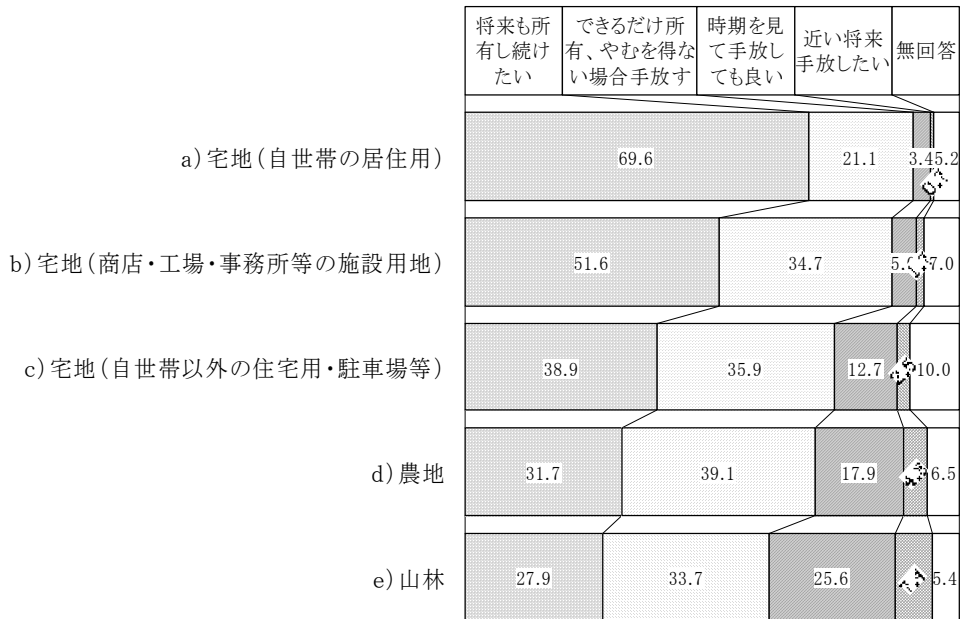


問 11. 【「土地を所有している方」のみ】 あなたまたはあなたの世帯で所有している土地を、将来どうしたいと思いますか。（a～eまでの土地についてひとつずつ選択）

土地の所有者に対し、将来にわたる所有の意思を問う設問である。自らが居住する宅地では、継続的所有の意思は約7割に達するが、それ以外の宅地、さらに農地、山林となるとその意思の割合は目立って少なくなる。「時期をみて手放しても良い」と「近い将来手放しても良い」を合わせた割合は、農地で約23%、山林で約33%に及んでおり、農地や山林が流動化する可能性が高いことを表している。

問11 所有する土地の将来意向

単位：％

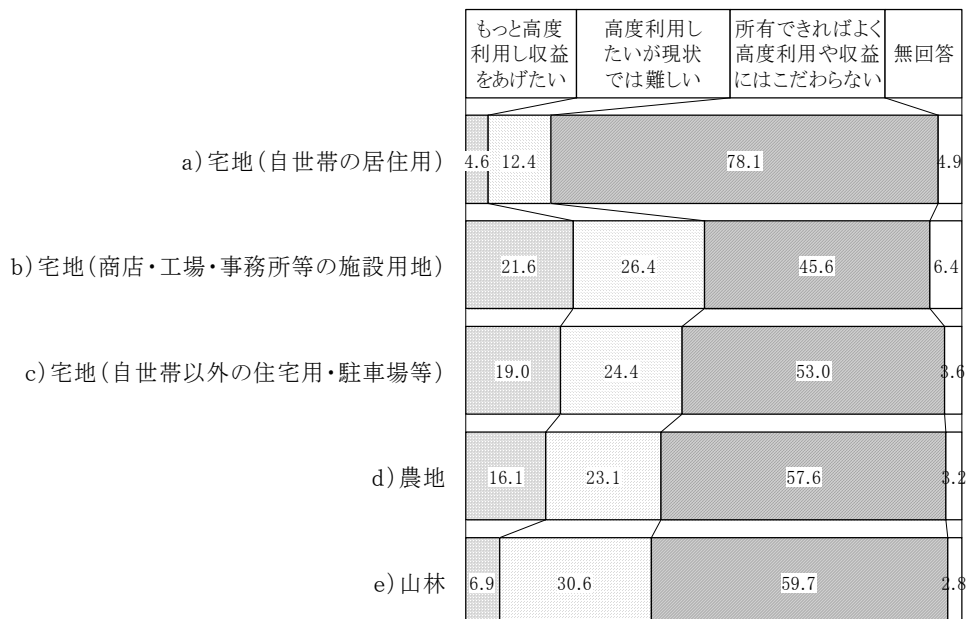


問12. 【前問11で「1. 将来にわたって所有し続けたい」とお答えの方のみ】 所有する土地をどのように活用したいと思いますか。(a～eまでの土地についてひとつずつ選択)

自らの居住用の宅地では、高度利用や収益を上げる意思の回答は少なく、「所有」そのものに意義があるという考えが大半とみられる。「もっと高度利用し収益をあげたい」との回答は、商工業や事務所等の施設用地で2割強、自宅以外の住宅や駐車場等で2割弱あるが、農地では16%、山林では7%にとどまっており、土地活用の意欲は必ずしも高くないことを物語っている。

問12 所有し続けたい土地の活用意向

単位：％



問 13. 【「土地を所有している方」のみ】 あなたまたはあなたの世帯で所有している土地が、もし次のような計画にかかった場合、どうしますか。（3つの場合ごとに a～e までの土地についてひとつずつ選択）

①道路や公園等の計画用地の場合

「協力しない」の割合は、自宅用の宅地でも約 17% で、条件つきも含め協力意思のある回答が多くを占めている。協力意思のある回答は、農地や山林ではさらに増え、「積極的に協力」が山林では 3 割弱に達している。この差は、地価の相違等も反映した結果とも考えられる。

問13 所有する土地にかかる計画対応
（①道路や公園等の計画用地の場合）

単位：%

	積極的に協力する	価格等条件しだいで協力しても良い	計画内容や用途によっては協力しても良い	協力しない	無回答
a) 宅地(自世帯の居住用)	7.4	34.8	33.8	16.8	7.2
b) 宅地(商店・工場・事務所等の施設用地)	10.7	34.8	31.8	10.7	12.0
c) 宅地(自世帯以外の住宅用・駐車場等)	8.8	36.8	31.3	8.3	14.8
d) 農地	19.1	33.9	34.1	4.6	8.3
e) 山林	28.3	33.0	28.7	1.9	8.1

②民間の商店や工場用地の場合

全体に、①よりも協力意思が薄まり、自宅用の宅地では「協力しない」が4割弱まで増えている。公共の利用ならば協力するが、民間事業への協力には消極的という市民感情が伺われる。

問13 所有する土地にかかる計画対応
(②民間の商店や工場用地の場合)

単位：%

	積極的に協力する	価格等条件 しだいで協力 しても良い	計画内容や 用途によっては 協力しても良い	協力 しない	無回答
a) 宅地(自世帯の居住用)	2.1	28.0	20.0	38.5	11.4
b) 宅地(商店・工場・事務所等の施設用地)	3.3	31.9	23.1	28.9	12.8
c) 宅地(自世帯以外の住宅用・駐車場等)	4.2	33.8	21.3	23.8	16.9
d) 農地	11.4	33.8	27.6	15.8	11.4
e) 山林	19.0	32.5	27.9	10.9	9.7

③土地区画整理や再開発区域の場合

全体に、①に近い傾向である。土地区画整理事業や市街地再開発事業が公共的性格を持つという認識から、①と共通の感覚で受け止められていると見られる。

問13 所有する土地にかかる計画対応
(③土地区画整理や再開発区域の場合)

単位：%

	積極的に協力する	価格等条件 しだいで協力 しても良い	計画内容や 用途によっては 協力しても良い	協力 しない	無回答
a) 宅地(自世帯の居住用)	6.0	30.5	35.2	17.3	11.0
b) 宅地(商店・工場・事務所等の施設用地)	8.7	36.4	32.2	10.3	12.4
c) 宅地(自世帯以外の住宅用・駐車場等)	10.0	33.9	31.3	8.6	16.2
d) 農地	16.7	31.3	34.1	6.1	11.8
e) 山林	22.5	31.4	31.8	2.7	11.6